

新中期経営計画

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

2024年6月21日

株式会社Kids Smile Holdings

証券コード:7084



新中期経営計画 目次

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

- | | | |
|------------------------------|--|------------------------|
| 1. これまでの歩み | 6. 事業領域の拡大 | 10. 会社基本情報 |
| 1-1. 財務指標の振り返り | 7. 新事業領域の紹介 | 会社概要 |
| 1-2. 期初予想に対する進捗 | 7-1. 新事業領域全体マップと新たな成長戦略 | ビジネスモデル&収益構造 |
| 1-3. 現中期経営計画に対する進捗 | 7-2. 新中期経営計画の数値計画 | サービス概要 - 認可保育所事業 |
| 2. 外部環境の変化 | 7-3. 新規事業の成長予測 | サービス概要 - プレミアム教育サービス事業 |
| 2-1. 待機児童問題の解消 | 7-4. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業:
認可保育所事業 | サービス概要 - グローバルスクール事業 |
| 2-2. 女性の労働力人口増加 | 7-5. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業:
プレミアム教育サービス事業 | 市場環境 |
| 2-3. 少子化社会のさらなる進展 | 7-6. 新事業領域の紹介 - 国際教育事業 | 重要指標 |
| 3. Kids Smile Holdingsの新たな挑戦 | 7-7. 新事業領域の紹介 - 産後ケア事業 | 競争力 - 非認知能力とは |
| 3-1. 新たな挑戦 | 7-8. 新事業領域の紹介 - ファミリーサポート事業 | 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム |
| 3-2. 4つのアクション | | 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス |
| 4. 新パーパス、新ステートメント | 8. 新中期経営計画のポイント | 競争力 - 多彩な教育プログラム |
| 5. 新社名について | 9. 2025年3月期業績予想 | 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ |
| | | 産後ケア事業 - 事業概要 |
| | | 産後ケア事業 - サービス概要 |
| | | 産後ケア事業 - 市場動向・戦略 |
| | | 投資計画 |
| | | リスク情報 |

新中期経営計画 目次

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

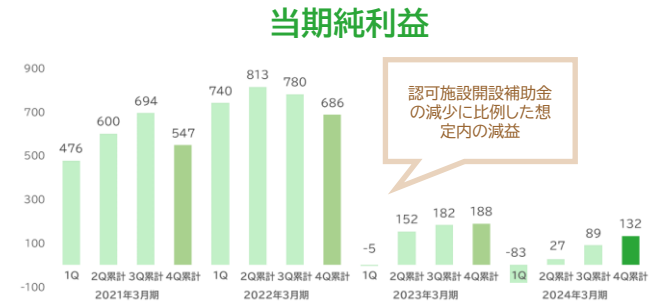
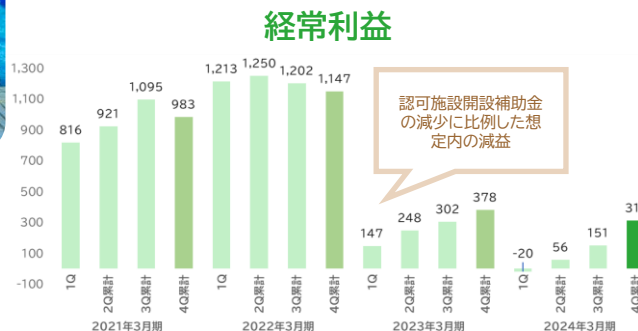
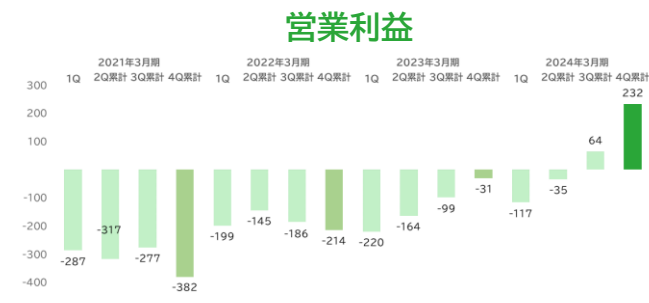
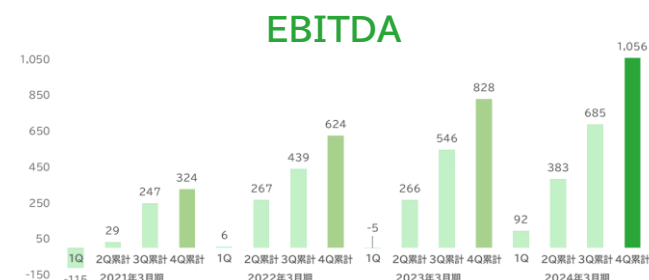
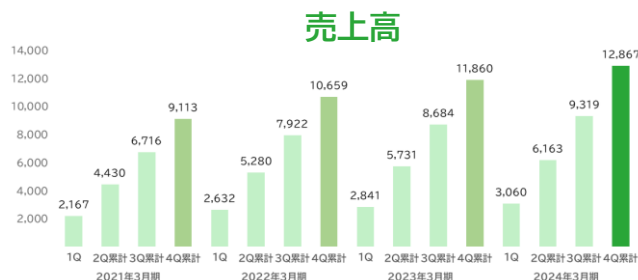
- | | | |
|------------------------------|--|------------------------|
| 1. これまでの歩み | 6. 事業領域の拡大 | 10. 会社基本情報 |
| 1-1. 財務指標の振り返り | 7. 新事業領域の紹介 | 会社概要 |
| 1-2. 期初予想に対する進捗 | 7-1. 新事業領域全体マップと新たな成長戦略 | ビジネスモデル&収益構造 |
| 1-3. 現中期経営計画に対する進捗 | 7-2. 新中期経営計画の数値計画 | サービス概要 - 認可保育所事業 |
| 2. 外部環境の変化 | 7-3. 新規事業の成長予測 | サービス概要 - プレミアム教育サービス事業 |
| 2-1. 待機児童問題の解消 | 7-4. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業:
認可保育所事業 | サービス概要 - グローバルスクール事業 |
| 2-2. 女性の労働力人口増加 | 7-5. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業:
プレミアム教育サービス事業 | 市場環境 |
| 2-3. 少子化社会のさらなる進展 | 7-6. 新事業領域の紹介 - 国際教育事業 | 重要指標 |
| 3. Kids Smile Holdingsの新たな挑戦 | 7-7. 新事業領域の紹介 - 産後ケア事業 | 競争力 - 非認知能力とは |
| 3-1. 新たな挑戦 | 7-8. 新事業領域の紹介 - ファミリーサポート事業 | 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム |
| 3-2. 4つのアクション | 8. 新中期経営計画のポイント | 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス |
| 4. 新パーパス、新ステートメント | 9. 2025年3月期業績予想 | 競争力 - 多彩な教育プログラム |
| 5. 新社名について | | 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ |
| | | 産後ケア事業 - 事業概要 |
| | | 産後ケア事業 - サービス概要 |
| | | 産後ケア事業 - 市場動向・戦略 |
| | | 投資計画 |
| | | リスク情報 |

1-1. これまでの歩み - 財務指標の振り返り

上場以来、継続的成長を達成し、每期財務指標は過去最高更新

2020年3月4日の新規上場以来、全従業員一丸となり、事業拡大およびサービス改善に日々従事した結果、各財務指標が每期改善

(単位:百万円)

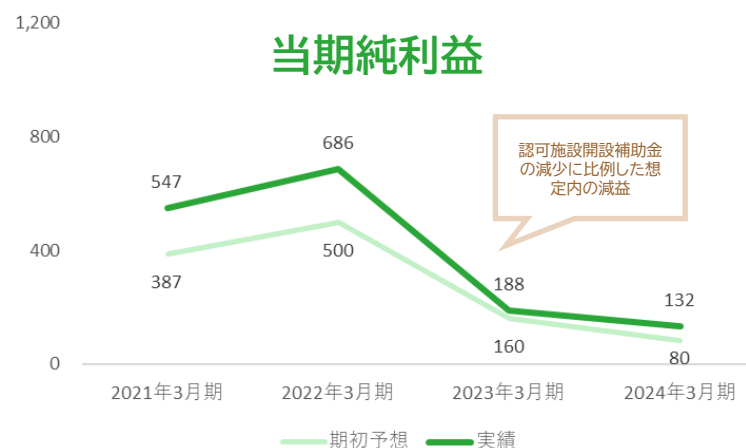
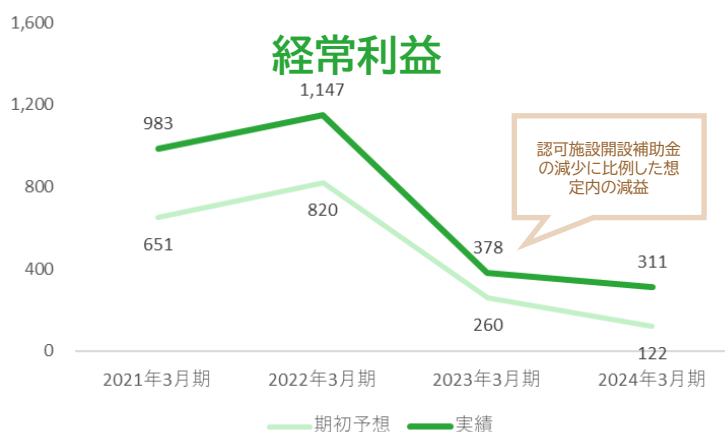
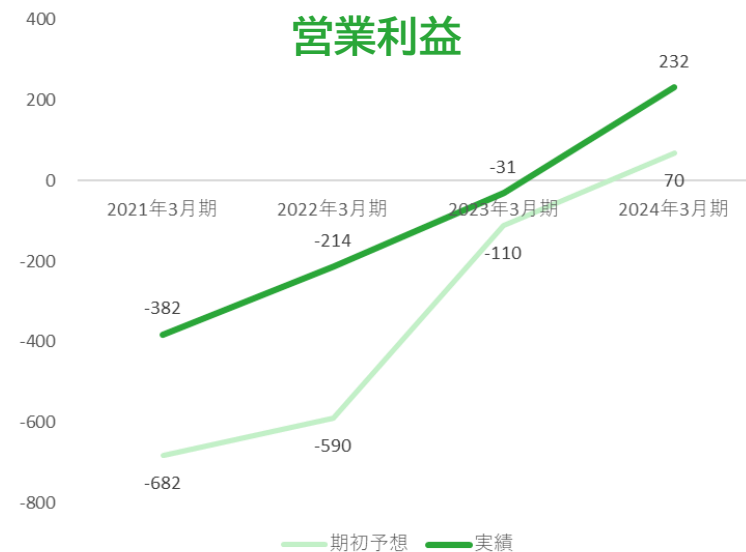
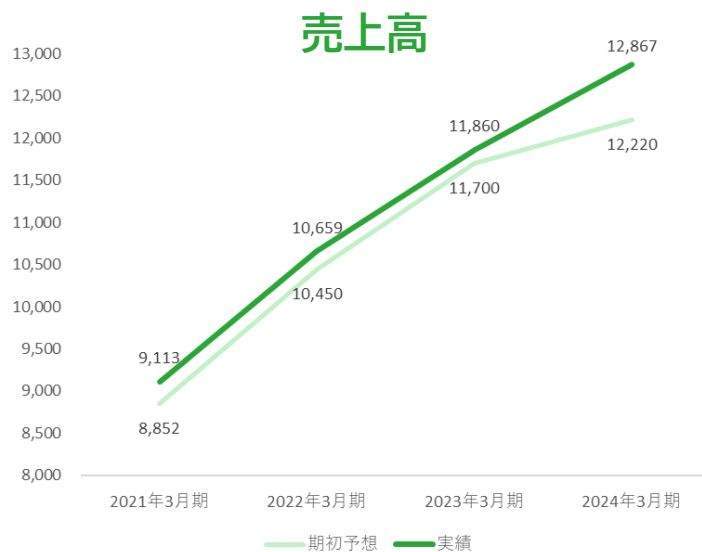


1-2. これまでの歩み – 期初予想に対する進捗

上場以来、每期実績は常に期初予想を上回って着地！

全てのステークホルダーに対するコミットメントを果たすことを最重要経営課題と捉え、期初予想を每期超過達成することに成功

(単位:百万円)



1-3. これまでの歩み – 現中期経営計画に対する進捗

現中期経営計画の売上高1年、営業利益3年前倒し達成！

想定以上の成長速度を達成した結果、現中期経営計画と実態との乖離が顕在化

(単位:百万円)	実績値	現中期経営計画(2023年6月発表)				
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期	~ 2030年3月期
	実績	計画	計画	計画	計画	計画
売上高	12,867	12,500 ~13,000	13,500 ~14,500	14,500 ~16,000	15,500 ~17,000	20,000
EBITDA	1,056	1,150 ~1,200	1,200 ~1,300	1,300 ~1,450	1,500 ~1,650	2,200
営業利益	232	80~100	80~100	150~300	300~500	1,050
営業外損益	78	-30	-30	-50	-50	-50
経常利益	311	50~100	50~100	100~250	250~450	1,000
新規施設数	1	3	6	10	10	10
総施設数	79	82	88	98	108	128

※23年6月幼児教室1
施設統合

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

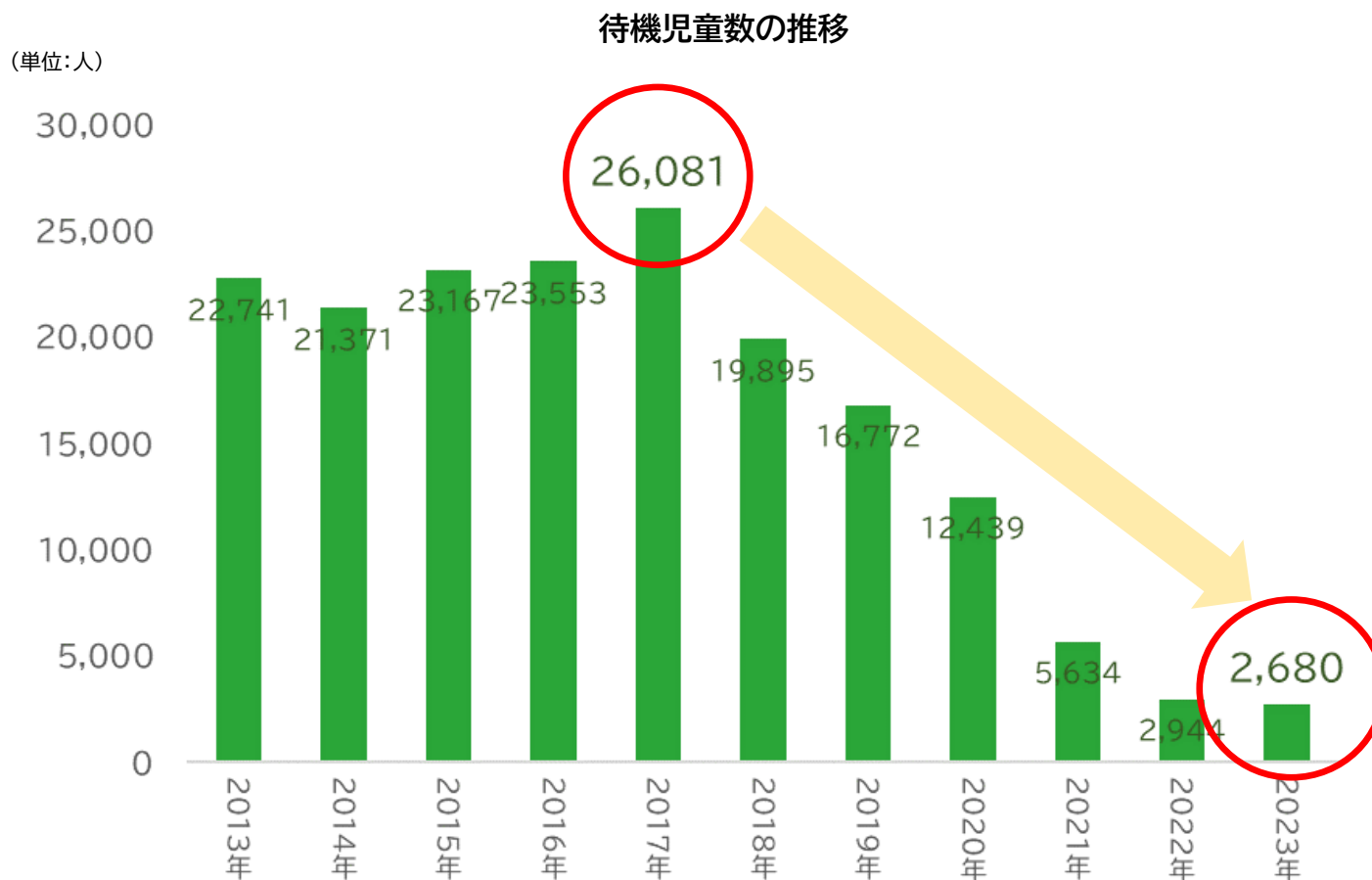
- | | | |
|------------------------------|--|------------------------|
| 1. これまでの歩み | 6. 事業領域の拡大 | 10. 会社基本情報 |
| 1-1. 財務指標の振り返り | 7. 新事業領域の紹介 | 会社概要 |
| 1-2. 期初予想に対する進捗 | 7-1. 新事業領域全体マップと新たな成長戦略 | ビジネスモデル&収益構造 |
| 1-3. 現中期経営計画に対する進捗 | 7-2. 新中期経営計画の数値計画 | サービス概要 - 認可保育所事業 |
| 2. 外部環境の変化 | 7-3. 新規事業の成長予測 | サービス概要 - プレミアム教育サービス事業 |
| 2-1. 待機児童問題の解消 | 7-4. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
認可保育所事業 | サービス概要 - グローバルスクール事業 |
| 2-2. 女性の労働力人口増加 | 7-5. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
プレミアム教育サービス事業 | 市場環境 |
| 2-3. 少子化社会のさらなる進展 | 7-6. 新事業領域の紹介 - 国際教育事業 | 重要指標 |
| 3. Kids Smile Holdingsの新たな挑戦 | 7-7. 新事業領域の紹介 - 産後ケア事業 | 競争力 - 非認知能力とは |
| 3-1. 新たな挑戦 | 7-8. 新事業領域の紹介 - ファミリーサポート事業 | 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム |
| 3-2. 4つのアクション | | 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス |
| 4. 新パーパス、新ステートメント | | 競争力 - 多彩な教育プログラム |
| 5. 新社名について | 8. 新中期経営計画のポイント | 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ |
| | 9. 2025年3月期業績予想 | 産後ケア事業 - 事業概要 |
| | | 産後ケア事業 - サービス概要 |
| | | 産後ケア事業 - 市場動向・戦略 |
| | | 投資計画 |
| | | リスク情報 |

2-1. 外部環境の変化 – 待機児童問題の解消

待機児童問題は概ね解消へ

出所:こども家庭庁待機児童数調査

こども家庭庁による待機児童数調査によると、2023年4月1日時点の待機児童数は2,680人(対前年▲264人)。待機児童数調査開始以来、5年連続で最少。待機児童数がピークであった2017年の26,081人から6年間で23,401人減少し、約1/10にまで減少



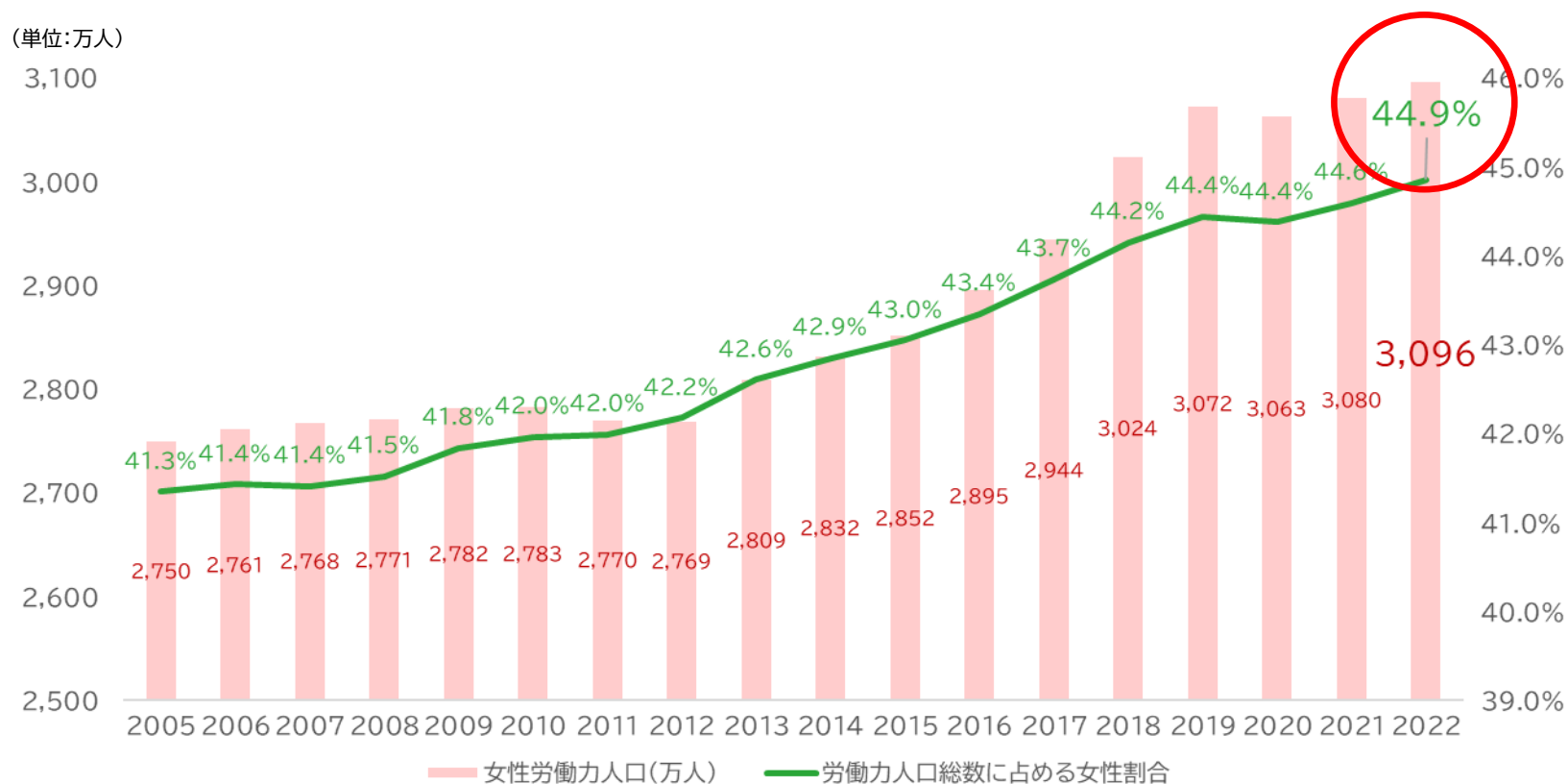
2-2. 外部環境の変化 – 女性の労働力人口増加

女性の労働力人口は引き続き上昇トレンド

出所:総務省 労働力調査

総務省「労働力調査」によると、女性の労働力人口は2022年時点で3096万人と前年に比べ16万人増加

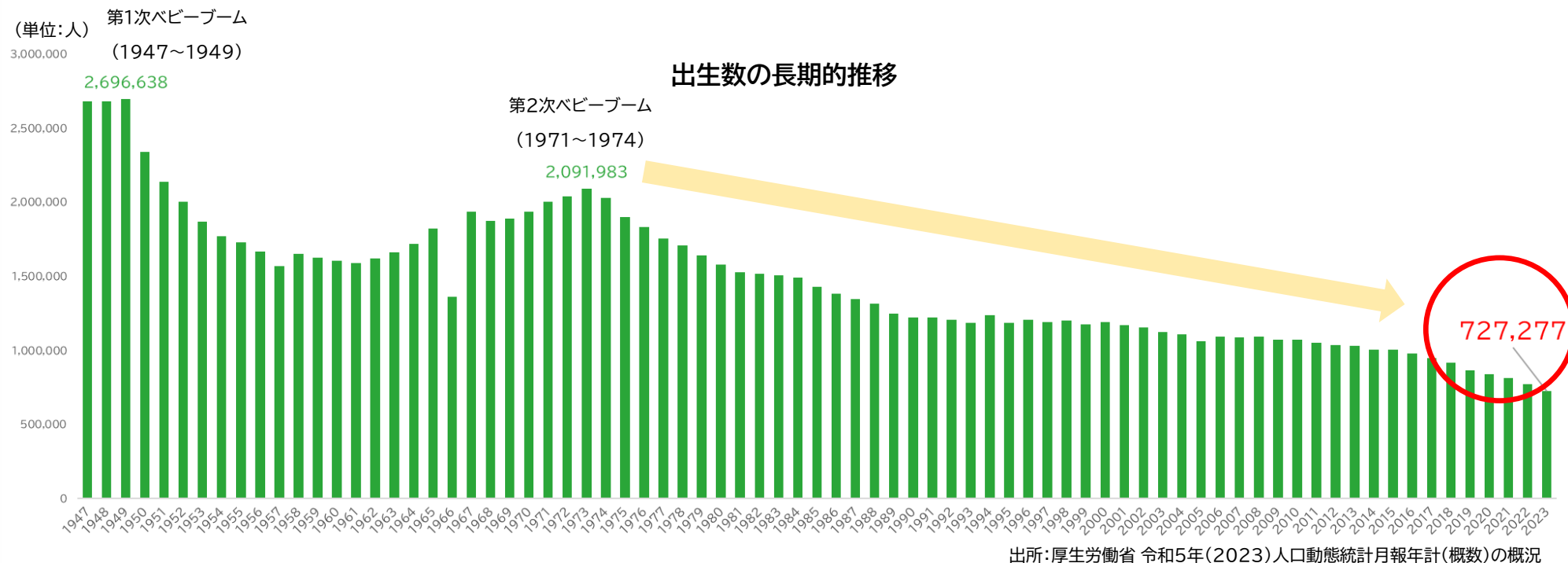
女性労働力人口および労働力人口総数に占める女性の割合の推移



2-3. 外部環境の変化 – 少子化問題の深刻化

少子化問題の深刻化に解決の目途はつかず

厚生労働省の人口動態統計によると、2023年の出生数は72万7277人と前年の77万759人より4万3482人減少。1973年のピークを過ぎた後、一貫して下落傾向が続く



～事業計画及び成長可能性に関する事項～

- | | | |
|------------------------------|--|------------------------|
| 1. これまでの歩み | 6. 事業領域の拡大 | 10. 会社基本情報 |
| 1-1. 財務指標の振り返り | 7. 新事業領域の紹介 | 会社概要 |
| 1-2. 期初予想に対する進捗 | 7-1. 新事業領域全体マップと新たな成長戦略 | ビジネスモデル&収益構造 |
| 1-3. 現中期経営計画に対する進捗 | 7-2. 新中期経営計画の数値計画 | サービス概要 - 認可保育所事業 |
| 2. 外部環境の変化 | 7-3. 新規事業の成長予測 | サービス概要 - プレミアム教育サービス事業 |
| 2-1. 待機児童問題の解消 | 7-4. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
認可保育所事業 | サービス概要 - グローバルスクール事業 |
| 2-2. 女性の労働力人口増加 | 7-5. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
プレミアム教育サービス事業 | 市場環境 |
| 2-3. 少子化社会のさらなる進展 | 7-6. 新事業領域の紹介 - 国際教育事業 | 重要指標 |
| 3. Kids Smile Holdingsの新たな挑戦 | 7-7. 新事業領域の紹介 - 産後ケア事業 | 競争力 - 非認知能力とは |
| 3-1. 新たな挑戦 | 7-8. 新事業領域の紹介 - ファミリーサポート事業 | 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム |
| 3-2. 4つのアクション | 8. 新中期経営計画のポイント | 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス |
| 4. 新パーパス、新ステートメント | 9. 2025年3月期業績予想 | 競争力 - 多彩な教育プログラム |
| 5. 新社名について | | 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ |
| | | 産後ケア事業 - 事業概要 |
| | | 産後ケア事業 - サービス概要 |
| | | 産後ケア事業 - 市場動向・戦略 |
| | | 投資計画 |
| | | リスク情報 |

好業績の今こそ新たな社会課題の解決にむけた事業領域拡大の好機

絶好調な業績

- 財務指標は**每期過去最高を更新**
- **每期、期初予想を上回る実績を記録**
- 盤石なビジネスモデルと**財務体質**
- 中期経営計画を**1年～3年前倒し達成する成長スピード**

社会課題の変化

創業時

- 待機児童問題
- 低い女性の就労率
- 少子化問題の進展

現在

- 待機児童問題は解消
- 女性の就労率は改善傾向にあるが女性への負担が大きい問題が残る
- 少子化問題は深刻化しており解決の目途はたらず

新たな社会課題

- ① 女性への負担が大きい社会の仕組みの改善
- ② 個人と家族の幸せの両立
- ③ 少子化の打開

この新たな社会課題の解決に向けて、今までの事業経験・ノウハウを生かしながら事業領域を拡大

飛躍的成長を目指す！

Kids Smile Holdingsの新たな挑戦

①新パーパス、新ステートメント策定、②事業領域の拡大および再定義、③中期経営計画の大幅な刷新、④社名の変更と4つのアクションを実施

新パーパス、
新ステートメント策定

中期経営計画の
大幅な刷新

事業領域の拡大
および再定義

社名の変更

社会課題
の解決

飛躍的
成長

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

1. これまでの歩み
 - 1-1. 財務指標の振り返り
 - 1-2. 期初予想に対する進捗
 - 1-3. 現中期経営計画に対する進捗
2. 外部環境の変化
 - 2-1. 待機児童問題の解消
 - 2-2. 女性の労働力人口増加
 - 2-3. 少子化社会のさらなる進展
3. Kids Smile Holdingsの新たな挑戦
 - 3-1. 新たな挑戦
 - 3-2. 4つのアクション
4. 新パーパス、新ステートメント
5. 新社名について
6. 事業領域の拡大
7. 新事業領域の紹介
 - 7-1. 新事業領域全体マップと新たな成長戦略
 - 7-2. 新中期経営計画の数値計画
 - 7-3. 新規事業の成長予測
 - 7-4. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
認可保育所事業
 - 7-5. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
プレミアム教育サービス事業
 - 7-6. 新事業領域の紹介 - 国際教育事業
 - 7-7. 新事業領域の紹介 - 産後ケア事業
 - 7-8. 新事業領域の紹介 - ファミリーサポート事業
8. 新中期経営計画のポイント
9. 2025年3月期業績予想
10. 会社基本情報
 - 会社概要
 - ビジネスモデル&収益構造
 - サービス概要 - 認可保育所事業
 - サービス概要 - プレミアム教育サービス事業
 - サービス概要 - グローバルスクール事業
 - 市場環境
 - 重要指標
 - 競争力 - 非認知能力とは
 - 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム
 - 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス
 - 競争力 - 多彩な教育プログラム
 - 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ
 - 産後ケア事業 - 事業概要
 - 産後ケア事業 - サービス概要
 - 産後ケア事業 - 市場動向・戦略
 - 投資計画
 - リスク情報

4. 新パーパス、新ステートメント

KIDS SMILE HOLDINGS

新たな社会課題の解決とそのための事業領域拡大を行うことで私たちは、
幼児教育サービスの会社から



総合パーソナルケアサービスの会社へと生まれ変わります



今までの社是：教育を通じて社会に貢献する



新パーパス

一人ひとりにパーソナルケアサービスを届けることにより

「家族の幸せ」と「個人の幸せ」が寄り添える社会へ



新ステートメント

「あなた」と「家族」の幸せが重なる場所に、私たちはいます

たとえば子供たちには、好奇心のままに夢中になれる楽しさを
ママやパパには、学びたいこと、磨きたいことに使える貴重な時間を
家族には、その成長をそばで見守れるという喜びを

幼児教育や保育、産後ケア、ファミリーコンシェルジュをはじめ、
私たちは、あらゆるパーソナルケアサービス事業を通じて、
「個人の幸せ」と「家族の幸せ」が寄り添える社会を目指していきます

我々が提供する「幸せ」の定義

我々が提供する、幸せの定義を考えてみました

幸せとは

子供でも大人でも、

好奇心をくすぐられるものがあること

何かに夢中になって楽しめること

昨日より今日の、成長を確かに感じられること

自分が、ありたい自分でいられること

そして、大切な家族が、夢中になって満たされている姿やその成長を、

すぐそばで、あたたかく見守ることができること

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

- | | | |
|------------------------------|--|------------------------|
| 1. これまでの歩み | 6. 事業領域の拡大 | 10. 会社基本情報 |
| 1-1. 財務指標の振り返り | 7. 新事業領域の紹介 | 会社概要 |
| 1-2. 期初予想に対する進捗 | 7-1. 新事業領域全体マップと新たな成長戦略 | ビジネスモデル&収益構造 |
| 1-3. 現中期経営計画に対する進捗 | 7-2. 新中期経営計画の数値計画 | サービス概要 - 認可保育所事業 |
| 2. 外部環境の変化 | 7-3. 新規事業の成長予測 | サービス概要 - プレミアム教育サービス事業 |
| 2-1. 待機児童問題の解消 | 7-4. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
認可保育所事業 | サービス概要 - グローバルスクール事業 |
| 2-2. 女性の労働力人口増加 | 7-5. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
プレミアム教育サービス事業 | 市場環境 |
| 2-3. 少子化社会のさらなる進展 | 7-6. 新事業領域の紹介 - 国際教育事業 | 重要指標 |
| 3. Kids Smile Holdingsの新たな挑戦 | 7-7. 新事業領域の紹介 - 産後ケア事業 | 競争力 - 非認知能力とは |
| 3-1. 新たな挑戦 | 7-8. 新事業領域の紹介 - ファミリーサポート事業 | 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム |
| 3-2. 4つのアクション | | 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス |
| 4. 新パーパス、新ステートメント | 8. 新中期経営計画のポイント | 競争力 - 多彩な教育プログラム |
| 5. 新社名について | 9. 2025年3月期業績予想 | 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ |
| | | 産後ケア事業 - 事業概要 |
| | | 産後ケア事業 - サービス概要 |
| | | 産後ケア事業 - 市場動向・戦略 |
| | | 投資計画 |
| | | リスク情報 |

新社名は現在検討中

今期中に社名変更予定

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

1. これまでの歩み
 - 1-1. 財務指標の振り返り
 - 1-2. 期初予想に対する進捗
 - 1-3. 現中期経営計画に対する進捗
2. 外部環境の変化
 - 2-1. 待機児童問題の解消
 - 2-2. 女性の労働力人口増加
 - 2-3. 少子化社会のさらなる進展
3. Kids Smile Holdingsの新たな挑戦
 - 3-1. 新たな挑戦
 - 3-2. 4つのアクション
4. 新パーパス、新ステートメント
5. 新社名について
6. 事業領域の拡大
7. 新事業領域の紹介
 - 7-1. 新事業領域全体マップと新たな成長戦略
 - 7-2. 新中期経営計画の数値計画
 - 7-3. 新規事業の成長予測
 - 7-4. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
認可保育所事業
 - 7-5. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
プレミアム教育サービス事業
 - 7-6. 新事業領域の紹介 - 国際教育事業
 - 7-7. 新事業領域の紹介 - 産後ケア事業
 - 7-8. 新事業領域の紹介 - ファミリーサポート事業
8. 新中期経営計画のポイント
9. 2025年3月期業績予想
10. 会社基本情報
 - 会社概要
 - ビジネスモデル&収益構造
 - サービス概要 - 認可保育所事業
 - サービス概要 - プレミアム教育サービス事業
 - サービス概要 - グローバルスクール事業
 - 市場環境
 - 重要指標
 - 競争力 - 非認知能力とは
 - 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム
 - 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス
 - 競争力 - 多彩な教育プログラム
 - 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ
 - 産後ケア事業 - 事業概要
 - 産後ケア事業 - サービス概要
 - 産後ケア事業 - 市場動向・戦略
 - 投資計画
 - リスク情報

6. 事業領域の拡大

KIDS SMILE HOLDINGS

「家族の幸せ」と「個人の幸せ」が寄り添える社会となるために

現中期経営計画

幼児教育単一事業

認可保育領域



認可保育園

プレミアム教育領域



プレップスクール&幼児教室



アフタースクール



グローバルスクール



スイミングスクール

新中期経営計画

4事業(ファミリーサポート事業は調査・検討中)

国内教育事業



認可保育園



プレップスクール&幼児教室



アフタースクール スイミングスクール

産後ケア事業



オーダーメイド産後ケア施設

※2025年3月期中に都内に開設予定

国際教育事業



グローバルスクール



海外留学支援



ネイチャーツーリズム



海外園運営

ファミリーサポート事業



ファミリーコンシエルジュ

ベビーシッター・家事代行・料理代行、
習い事、講師、インストラクター派遣等

調査検討中

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

1. これまでの歩み
 - 1-1. 財務指標の振り返り
 - 1-2. 期初予想に対する進捗
 - 1-3. 現中期経営計画に対する進捗
2. 外部環境の変化
 - 2-1. 待機児童問題の解消
 - 2-2. 女性の労働力人口増加
 - 2-3. 少子化社会のさらなる進展
3. Kids Smile Holdingsの新たな挑戦
 - 3-1. 新たな挑戦
 - 3-2. 4つのアクション
4. 新パーパス、新ステートメント
5. 新社名について
6. 事業領域の拡大
7. 新事業領域の紹介
 - 7-1. 新事業領域全体マップと新たな成長戦略
 - 7-2. 新中期経営計画の数値計画
 - 7-3. 新規事業の成長予測
 - 7-4. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
認可保育所事業
 - 7-5. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
プレミアム教育サービス事業
 - 7-6. 新事業領域の紹介 - 国際教育事業
 - 7-7. 新事業領域の紹介 - 産後ケア事業
 - 7-8. 新事業領域の紹介 - ファミリーサポート事業
8. 新中期経営計画のポイント
9. 2025年3月期業績予想
10. 会社基本情報
 - 会社概要
 - ビジネスモデル&収益構造
 - サービス概要 - 認可保育所事業
 - サービス概要 - プレミアム教育サービス事業
 - サービス概要 - グローバルスクール事業
 - 市場環境
 - 重要指標
 - 競争力 - 非認知能力とは
 - 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム
 - 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス
 - 競争力 - 多彩な教育プログラム
 - 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ
 - 産後ケア事業 - 事業概要
 - 産後ケア事業 - サービス概要
 - 産後ケア事業 - 市場動向・戦略
 - 投資計画
 - リスク情報

幼児教育単一事業から、4事業による新たな成長戦略

国内教育事業

認可



認可保育園

- 認可園70施設
- 安定収益を確保する事業基盤

プレミアム



PREP SCHOOL CLASSROOM
プレップスクール&幼児教室



アフタースクール スイミングスクール

- 既存8施設の安定運営
- 麻布台ヒルズに新園開設予定(27年3月を目途)
- スペシャルカスタマー向けの高付加価値な幼児教育を提供

産後ケア事業



産後ケア

- ママの疲れや不安に寄り添い、この先続く赤ちゃんと家族の時間をより健やかに快適に過ごせるよう、産後ママにとびきりの休息と回復を提供するためのオーダーメイド産後ケア施設を展開
- 東京都内中心部にて今期中(2025年3月期)に1施設開業予定
- 富裕層向けプレミアム教育サービス運営で培ったノウハウを応用し、オーダーメイドかつハイクオリティなサービスを提供
- パートナー企業との共同開発も組み合わせ、施設開設を加速

国際教育事業



グローバルスクール

- 前期にスタートして新業態。錦糸町園、吉祥寺園(24年10月開設)の2施設を展開。
- 教育サービスレベルの向上と新規開設を進めている。



海外留学支援

- イギリス、スイス、アメリカ、シンガポールなど、その教育水準で世界的な知名度を有するボーディングスクールへの短期留学のコーディネーション並びに本留学のサポート。



ネイチャーツーリズム

- 自然発見・自然体験など国内観光スポットでの親子インバウンドの受け入れ事業。国内大手企業とも連携し、地域創生および地方開発も推進



海外園運営

- シンガポールなどアジアを中心に、海外保育園のM&A等を検討。国内で培った保育ノウハウによりサービスレベルを向上させ高収益な園運営を目指す

ファミリーサポート事業



ファミリーサポート

- プレミアム教育サービス事業で培ったハイクオリティなサービス開発ノウハウを横展開
- 総合的なソリューションの提供: 保育だけでなく、家事支援、料理代行、習い事・インストラクター派遣、ペットケアなど、多岐にわたるサービスを統合的に提供し、家族の多様なニーズに対応
- 人材教育の強化と運営力: 幼児教育事業で培った専門知識やスキルを、家族や家庭の課題解決に応用
- 技術の活用: 簡便なテクノロジーソリューションを導入し、迅速な市場展開を図るとともに、サービスの質と顧客満足度を向上させる

ベビーシッター・家事代行・料理代行、
習い事・インストラクター派遣、ペットケア等

※事業化に向けて調査検討中

7-2. 新事業領域の紹介 – 新中期経営計画の数値計画

KIDS SMILE HOLDINGS

事業領域の拡大により収益構造の大転換を実施

既存事業の安定成長を維持しながら、高付加価値の新規事業に経営資源を投入することにより、非連続的成長を目指す

売上高

(単位:百万円)	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期	2029年3月期	2030年3月期
合計	12,900	13,580	15,290	17,130	19,400	22,000
国内教育事業						
認可保育事業	11,120	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
プレミアム教育事業	1,630	1,630	1,750	1,850	1,900	1,900
国際教育事業	90	250	440	680	900	1,000
産後ケア事業	60	600	2,000	3,500	5,500	8,000

営業利益

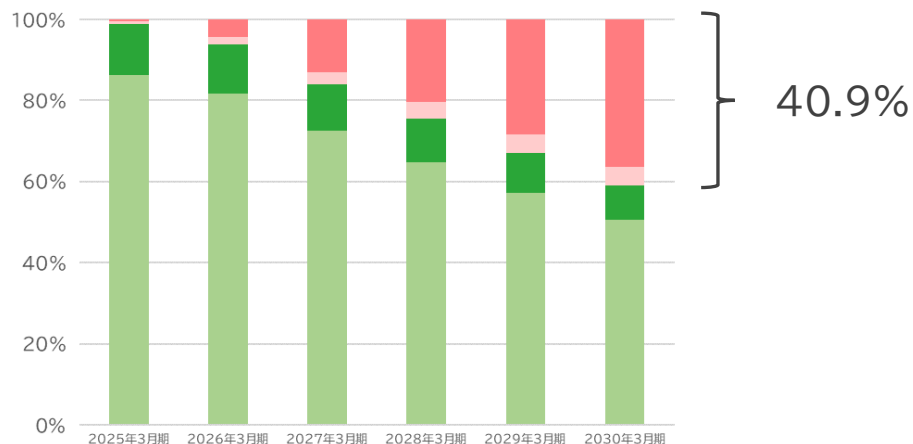
(単位:百万円)	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期	2029年3月期	2030年3月期
合計	-100	220	350	884	1,450	2,100
国内教育事業						
認可保育事業	950	930	900	900	900	900
プレミアム教育事業	120	120	40	160	220	250
国際教育事業	-40	-30	-40	24	80	150
産後ケア事業	-150	150	450	900	1,400	2,000
本社管理費用	-980	-950	-1,000	-1,100	-1,150	-1,200

7-3. 新事業領域の紹介 – 新規事業の成長予測

2030年3月期には新規事業が収益の柱に

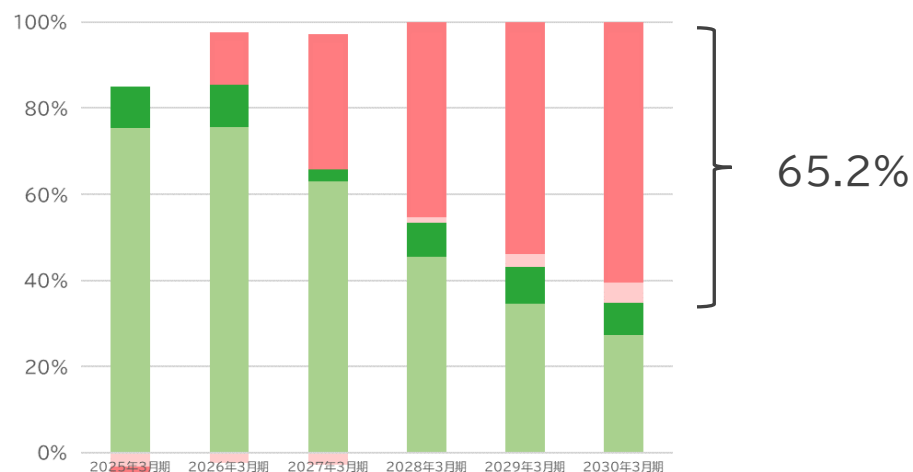
高付加価値事業参入により、2030年3月期には売上の40%、営業利益の65%が新規事業が占める見込み

売上高



2030年3月期の売上において、新規事業(国際教育事業+産後ケア事業)のシェアが**40.9%**を占める見込み

営業利益



2030年3月期の営業利益において、新規事業(国際教育事業+産後ケア事業)のシェアが**65.2%**を占める見込み

7-4. 新事業領域の紹介 – 国内教育事業:認可保育所事業

Kids Smile Holdingsの基盤事業として、安定成長を目指す

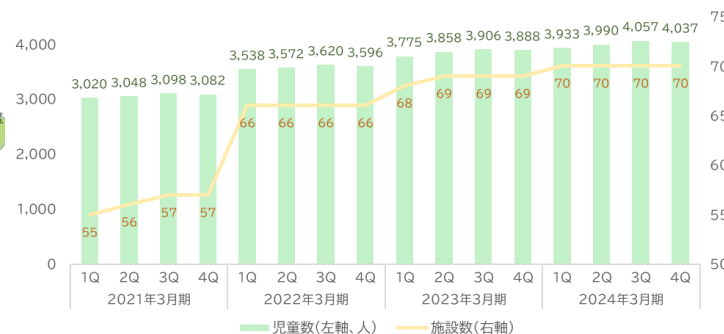
認可保育所事業・・・社会インフラとしての役割を担い国や自治体からの補助金を中心に運営する安定した事業



東京都・神奈川県・愛知県に認可保育所70園を運営(東京に63園)



園児充足率の高まりに応じ、在籍児童数が高水準で推移



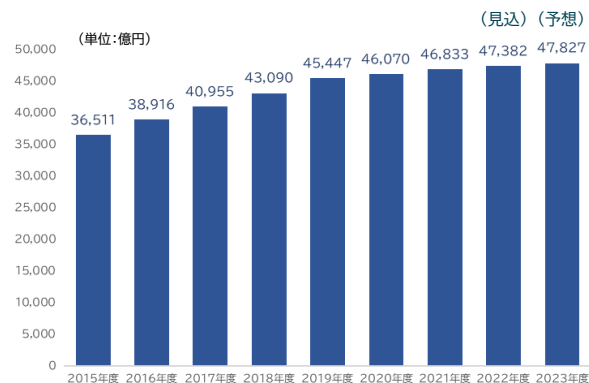
国内教育事業

経営戦略:現在の施設数を維持しながら、引き続き保育の質向上を目指し、さらなる園児充足率の向上を目指す

経営戦略のポイント

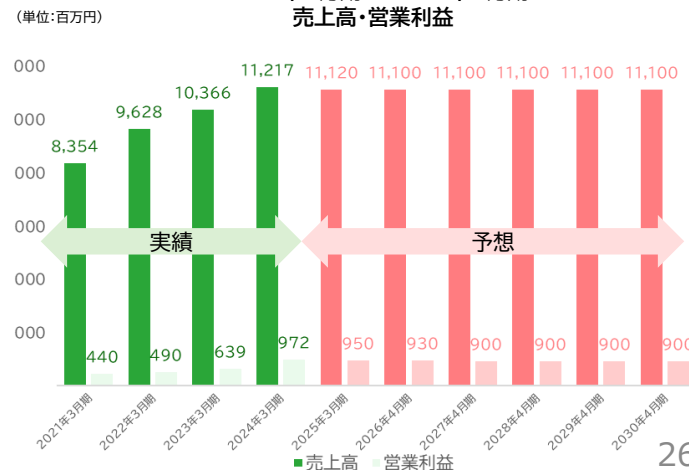
- 認可保育所は現在の70園を維持
- 当面、園の新設予定なし
- 園内の設備や、保育の質向上に向けて引き続き積極投資を行う
- 各園において、保育サービスの向上を継続的に行う
- 園児充足率の向上を実現し、売上および利益率の改善を目指す
- 引き続きKids Smile Holdingsの基盤事業として重要視

少子高齢化の一方、幼児教育市場規模は安定的に推移



出所: 矢野経済研究所・保育・幼児教育市場の市場規模推移

2021年3月期~2030年3月期
売上高・営業利益

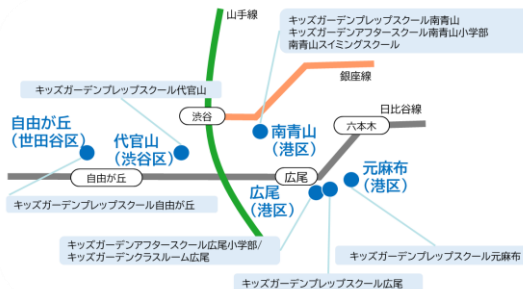


持続的な教育の質向上により着実な成長を目指す

プレミアム教育サービス事業・・・上質な教育サービスを提供することにより、高い収益力を生み出す民間事業

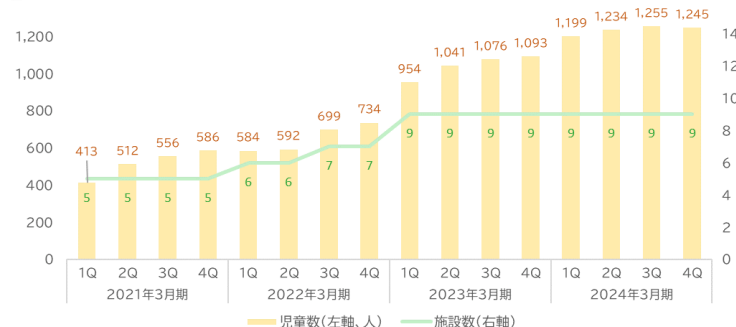


教育感性が高く、子どもへの教育投資に積極的な層が多い
東京都内エリア中心に開設



ハイエンド向けプレスクール一体型保育所
ハイエンド向け学童施設、幼児教室、スイミングスクール、
運動/野外体験教室 等

集客強化と顧客単価上昇により堅調な成長



国内教育事業

経営戦略:最高水準の教育レベルの追求 & 麻布台ヒルズ・キッズガーデンの新規開設

経営戦略のポイント

- スペシャルカスタマー向けの高付加価値な幼児教育を提供
- 新たなプログラム導入により、多様な教育ニーズに答える
- 研究機関、教育機関との連携を深め、新プログラム開発に努める
- 麻布台ヒルズに新規開設予定
教育的価値、体験価値を実現する為に、様々な教育プログラム・サービスを随時開発・導入

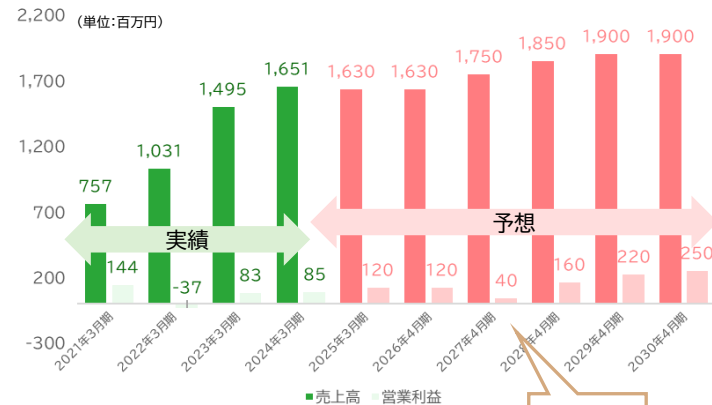
手書き能力を育てるモンテッソーリ教育	トップアスリートトレーニングのノウハウをベースにした特選プログラム
幼稚園受験・小学校受験に対応した受験クラス	KITAJIMAQUATICS のプログラムを提供する水泳プログラム
ネイティブ講師による本格的な授業を行う英語プログラム	乳児から小学生までを育てる空手プログラム
計算能力を高めるそろばんタブレット学習	リズム感や記憶力、集中力の発達を促すダンスプログラム
早稲田大学との共同研究による理科実験・プログラミング・造形絵画	自然の中で学ぶ野外体験プログラム
遊びを通して「リサーチスキル」を身に付ける「チョイス・タイム」・アクティビティ	想像力も好奇心を育てるアート&シアター

麻布台ヒルズ・キッズガーデン開設準備進行中！



森ビルが緑豊かなランドマークとして開発中の大型プロジェクト「麻布台ヒルズ」にキッズガーデン開設決定。キッズガーデン南青山のプレミアム性にグローバルスクールの国際性をプラス。新たなフックアップとして開設

2021年3月期～2030年3月期 売上高・営業利益



新設投資計画(推計値):約2.5～3億円/施設

麻布台ヒルズ開設による一時的に減益予定

国際領域開拓によるグローバル事業展開の加速を目指す

国際教育事業…グローバルスクールを中心としてインバウンド・アウトバウンド双方の需要を取り込むグローバル事業

国際教育事業ポートフォリオ



グローバルスクール錦糸町: 2023年4月開園以降、順調に成長



グローバルスクールの主な特長

- ◆ プレミアムラインの幼児教育のノウハウ
- ◆ 多言語対応(日本語・英語・中国語)
- ◆ 認可保育所の標準化した運営ノウハウ
- ◆ プレミアムラインの約半額の価格設定
- ◆ 英語と日本語のバイリンガル教育

グローバルスクール吉祥寺: 2024年10月開園!



経営戦略: グローバルスクールを継続的に新設すると同時に、国内外からの国際教育需要を取り込む事業展開推進

経営戦略のポイント

- グローバルスクール吉祥寺園が2024年10月に開園し、錦糸町園と合計2園に
- 従来のグローバルスクールの展開に加え、海外留学、海外園運営、ネイチャーリズム等の事業展開
- 今夏に第1回ボーディングスクール留学(英国)を実施
- ただし、新事業については事業開発中につき、現時点では業績予想には不算入

国内の海外教育に対する需要と海外の国内教育・体験に対する需要を事業化推進



海外留学

イギリス、スイス、アメリカ、シンガポールなど、その教育水準で世界的な知名度を有するボーディングスクールへの短期期留学のコーディネーション並びに本留学のサポート。



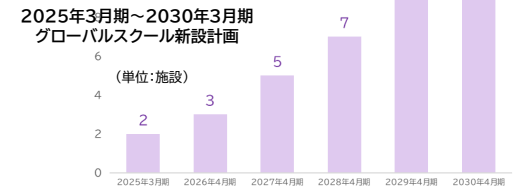
ネイチャーリズム

自然発見・自然体験など国内観光スポットでの親子インバウンドの受け入れ事業。国内大手企業とも連携し、地域創生および地方開発も推進



海外園運営

シンガポールなどアジアを中心に、海外保育園のM&A等を検討。国内で培った保育ノウハウによりサービスレベルを向上させ高収益な園運営を目指す



新設投資計画(推定値): 約1.1～1.2億円/施設

7-7. 新事業領域の紹介 – 産後ケア事業

拡大基調にある新規市場において、圧倒的シェアの獲得を目指す

産後ケア事業・・・子どもを愛しむ産後ママの心身ケアサービス。世界的需要の高まりを背景に新規参入し、市場創出・獲得を行う

産後ケア施設の新設・運営



ママの疲れや不安に寄り添い、この先続く赤ちゃんと家族の時間をより健やかに快適に過ごせるよう産後ママにとびきりの休息と回復を提供するため、**オーダーメイド産後ケア施設**を東京都内中心部に開業予定。今後主要都市部で事業展開を計画

外部環境からの要請と、Kids Smileの事業優位性の融合

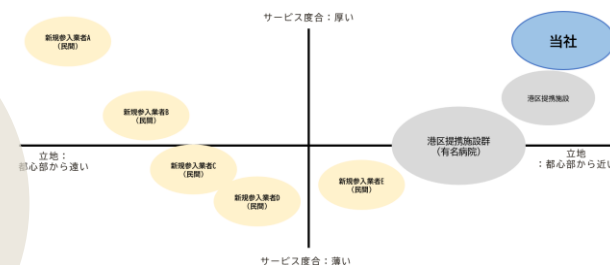
当社の強み

- ◆ 時代のニーズにマッチした新たな価値想像力
- ◆ 確立された“KIDS GARDEN”ブランド
- ◆ 上質な幼児教育の提供実績
- ◆ 最上のホスピタリティサービスの構築経験
- ◆ ロイヤルカスタマーの獲得・維持

外部環境の要請

- ◆ 出産の高齢化により、心身ケアの必要度が増大。
- ◆ 出産時の入院期間短縮傾向
- ◆ アジアを中心に産後ケアサービスがスタンダード化
- ◆ 日本でも行政の支援がスタート

ポジショニングマップ



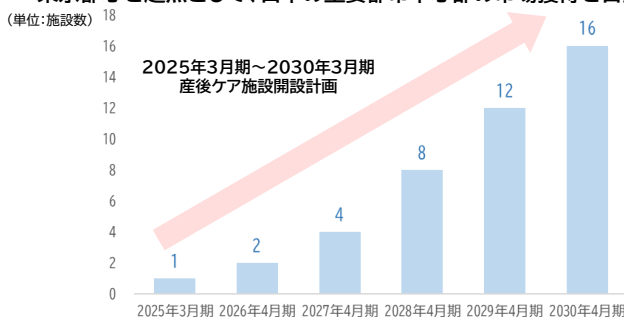
都心部に近い施設展開を行うと同時に、オーダーメイドの充実したサービス提供し、顧客満足度を最大化。民間型は郊外中心に展開。一方、都内中心部の病院は一定レベルのサービス提供に限定されているのが現状

経営戦略: パートナー企業との共同開発も組み合わせ、東京都心マーケットにおける支配的地位を目指し、全国展開へと繋げていく

経営戦略のポイント

- 東京都心を中心に事業展開準備中
- 富裕層向けプレミアム教育サービス運営で培ったノウハウを応用し、オーダーメイドかつハイクオリティなサービス提供
- 今期中(2025年3月期)に都内中心部にて1施設開業予定
- 施設開発においてパートナー企業との連携を深め、施設開設を加速。
- 中期の成長ドライバーとに位置付け

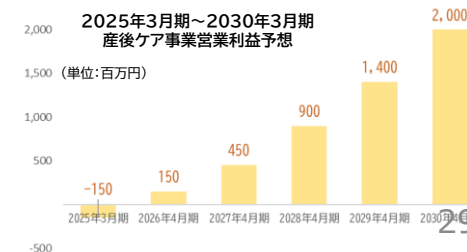
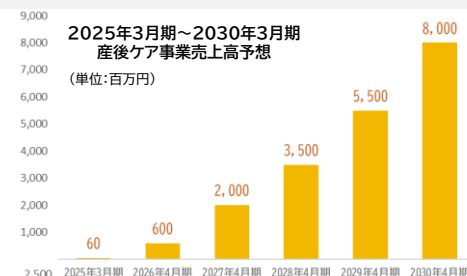
東京都心を起点として、日本の主要都市中心部の市場獲得を目指す



自社開設のみにこだわらず、施設開発においては、パートナー企業との共同開発により、開設計画を加速化させていく

新設投資計画(推計値)

- 自社開発の場合、約5億円/施設
- パートナー企業との共同開発の場合、約5千万円/施設(ただし、ランニングコスト増)



保育事業経験を活かした総合家族サポート事業開発を目指す

ファミリーサポート事業・・・ベビーシッターからペットケアまで家庭内の課題を解決するファミリーサポート事業

ファミリーサポート



※事業化に向けて
調査・検討中

参入背景

- 1.人口動態の変化**
核家族化、高齢化は進行の一途をたどり、家庭内でのケアが今後も拡大基調と予測されています。
- 2.働き方改革とライフスタイルの変化**
共働き家庭の増加、都市化、生活の多様性により多様なライフスタイルと育児、家事、家庭に関わるサポートのニーズが拡大しています。
- 3.持続可能な社会の実現**
多様化する家族とライフスタイルに応え、持続可能社会の実現が次の世代を担う子どもたちの未来にもつながっています。

サービスカテゴリ

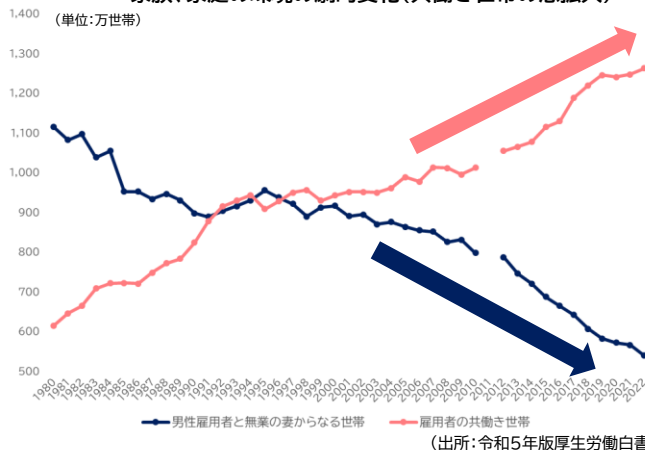


経営戦略: 保育事業で形成した顧客接点と人材教育、運営力を活かし、家族、家庭の課題解決型ソリューションを提供

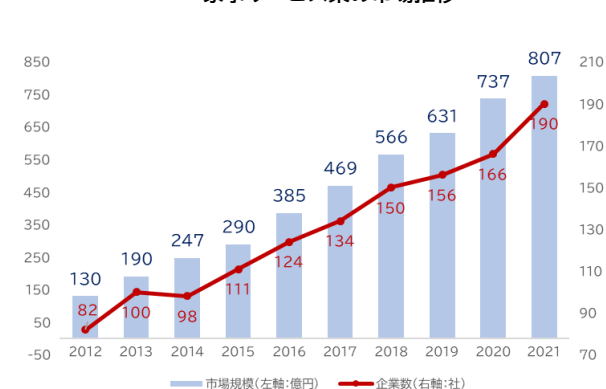
経営戦略のポイント

- **事業化にむけて調査・検討中**
- プレミアム教育サービス事業で培ったハイクオリティなサービス開発ノウハウを横展開
- 本事業については事業開発・調査中につき、現時点では業績予想には不算入
- 人材教育の強化と運営力: 保育事業で培った専門知識やスキルを、家族や家庭の課題解決に応用
- 総合的なソリューションの提供: 保育だけでなく、家事支援、料理代行、習い事・インストラクター派遣、ペットケアなど多岐にわたるサービスを統合的に提供し、家族の多様なニーズに対応
- 簡便なテクノロジーソリューションを導入し、迅速な市場展開を図るとともに、サービスの質と顧客満足度を向上させる

家族、家庭の環境の劇的変化(共働き世帯の急拡大)



家事サービス業の市場推移



(出所: 帝国データバンク 令和4年度商取引・サービス環境の適正化に係る事業報告書)

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

- | | | |
|------------------------------|--|------------------------|
| 1. これまでの歩み | 6. 事業領域の拡大 | 10. 会社基本情報 |
| 1-1. 財務指標の振り返り | 7. 新事業領域の紹介 | 会社概要 |
| 1-2. 期初予想に対する進捗 | 7-1. 新事業領域全体マップと新たな成長戦略 | ビジネスモデル&収益構造 |
| 1-3. 現中期経営計画に対する進捗 | 7-2. 新中期経営計画の数値計画 | サービス概要 - 認可保育所事業 |
| 2. 外部環境の変化 | 7-3. 新規事業の成長予測 | サービス概要 - プレミアム教育サービス事業 |
| 2-1. 待機児童問題の解消 | 7-4. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
認可保育所事業 | サービス概要 - グローバルスクール事業 |
| 2-2. 女性の労働力人口増加 | 7-5. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
プレミアム教育サービス事業 | 市場環境 |
| 2-3. 少子化社会のさらなる進展 | 7-6. 新事業領域の紹介 - 国際教育事業 | 重要指標 |
| 3. Kids Smile Holdingsの新たな挑戦 | 7-7. 新事業領域の紹介 - 産後ケア事業 | 競争力 - 非認知能力とは |
| 3-1. 新たな挑戦 | 7-8. 新事業領域の紹介 - ファミリーサポート事業 | 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム |
| 3-2. 4つのアクション | | 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス |
| 4. 新パーパス、新ステートメント | 8. 新中期経営計画のポイント | 競争力 - 多彩な教育プログラム |
| 5. 新社名について | 9. 2025年3月期業績予想 | 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ |
| | | 産後ケア事業 - 事業概要 |
| | | 産後ケア事業 - サービス概要 |
| | | 産後ケア事業 - 市場動向・戦略 |
| | | 投資計画 |
| | | リスク情報 |

8. 新中期経営計画のポイント

2030年3月期:事業領域の拡大により成長速度は加速

高付加価値事業参入により、利益改善速度が加速

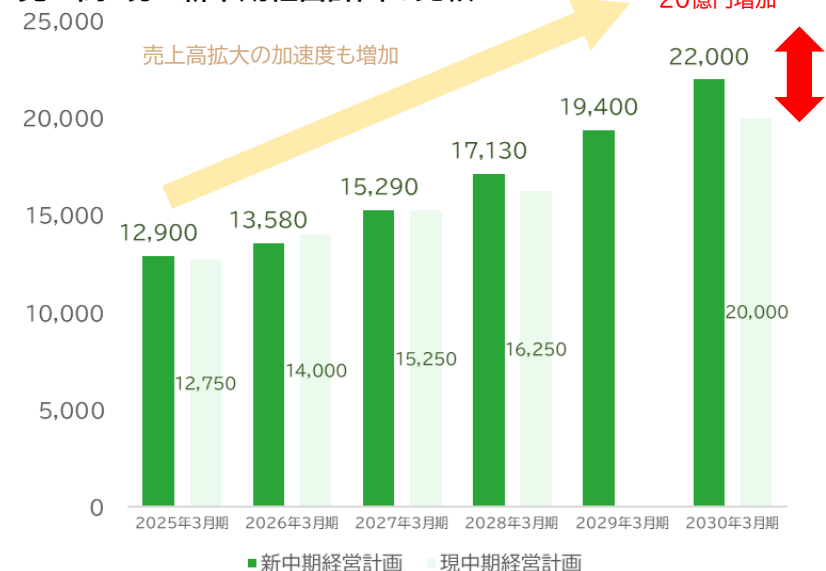
現中期経営計画に対して圧倒的な成長速度を目指す

(百万円)	2024年3月期 実績	2030年3月期 現中期経営計画目標	2030年3月期 新中期経営計画目標
売上高	12,867	20,000	22,000
EBITDA	1,056	2,200	3,320
営業利益	232	1,050	2,100
経常利益	311	1,000	2,000
当期純利益	132	-	1,300

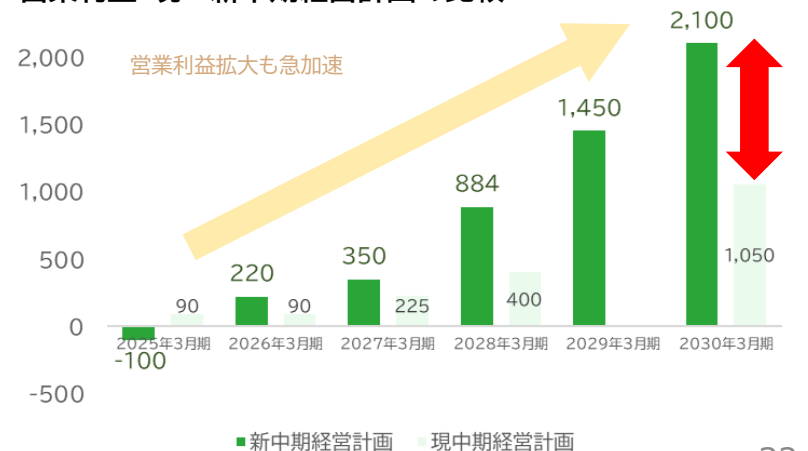
成長速度の現⇄新比較:各財務指標のCAGR(年平均成長率)

(単位:%/年)	現中期経営計画	新中期経営計画
売上高	7.6%	9.4%
EBITDA	13.0%	21.0%
営業利益	28.6%	59.3%
経常利益	21.5%	51.0%
当期純利益	-%	62.1%

売上高:現⇄新中期経営計画の比較



営業利益:現⇄新中期経営計画の比較



注:予想がレンジのものは中央値で表示

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

- | | | |
|------------------------------|--|------------------------|
| 1. これまでの歩み | 6. 事業領域の拡大 | 10. 会社基本情報 |
| 1-1. 財務指標の振り返り | 7. 新事業領域の紹介 | 会社概要 |
| 1-2. 期初予想に対する進捗 | 7-1. 新事業領域全体マップと新たな成長戦略 | ビジネスモデル&収益構造 |
| 1-3. 現中期経営計画に対する進捗 | 7-2. 新中期経営計画の数値計画 | サービス概要 - 認可保育所事業 |
| 2. 外部環境の変化 | 7-3. 新規事業の成長予測 | サービス概要 - プレミアム教育サービス事業 |
| 2-1. 待機児童問題の解消 | 7-4. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
認可保育所事業 | サービス概要 - グローバルスクール事業 |
| 2-2. 女性の労働力人口増加 | 7-5. 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
プレミアム教育サービス事業 | 市場環境 |
| 2-3. 少子化社会のさらなる進展 | 7-6. 新事業領域の紹介 - 国際教育事業 | 重要指標 |
| 3. Kids Smile Holdingsの新たな挑戦 | 7-7. 新事業領域の紹介 - 産後ケア事業 | 競争力 - 非認知能力とは |
| 3-1. 新たな挑戦 | 7-8. 新事業領域の紹介 - ファミリーサポート事業 | 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム |
| 3-2. 4つのアクション | 8. 新中期経営計画のポイント | 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス |
| 4. 新パーパス、新ステートメント | 9. 2025年3月期業績予想 | 競争力 - 多彩な教育プログラム |
| 5. 新社名について | | 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ |
| | | 産後ケア事業 - 事業概要 |
| | | 産後ケア事業 - サービス概要 |
| | | 産後ケア事業 - 市場動向・戦略 |
| | | 投資計画 |
| | | リスク情報 |

9. 2025年3月期業績予想

KIDS SMILE HOLDINGS

今期は減益をさせて先行投資の実施→来期で回収

既存事業の成長により売上高は成長するが、成長投資の集中実施により一時的な減益。再来期からの黒字化にむけて全社的に取り組む

参考情報(新中期経営企画)

(単位:百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減額	2026年3月期 予想	増減額
売上高	12,867	12,900	33	13,580	680
EBITDA	1,056	730	-326	1,100	370
営業利益	232	-100	-332	220	320
経常利益	311	-130	-441	170	300
当期純利益	132	-130	-262	110	240

2025年3月期:営業利益の考え方

1. 既存事業増益13百万円
2. 新規事業投資(国際教育事業+産後ケア事業)190百万円、それともなう増床および本社機能強化による本社管理費用増加155百万円
3. 総額345百万円の投資(費用増)により今期減益

9. 2025年3月期業績予想

KIDS SMILE HOLDINGS

既存事業は増益、新規事業投資とそのための本社機能強化によりトータルで今期は減益計画。来期は増益および黒字化計画

売上高(前期実績)

(単位:百万円)	2024年3月期
合計	12,866
認可保育領域	11,216
プレミアム教育領域	1,650

売上高(今期予想)

(単位:百万円)	2025年3月期
合計	12,900
国内教育事業	11,120
国際教育事業	90
産後ケア事業	60



今後グローバルスクールの収支は国際教育事業へ

営業利益(前期実績)

(単位:百万円)	2024年3月期
合計	232
認可保育領域	972
プレミアム教育領域	85
本社管理費用	-825

営業利益(今期予想)

(単位:百万円)	2025年3月期
合計	-100
国内教育事業	950
国際教育事業	-40
産後ケア事業	-150
本社管理費用	-980



今後グローバルスクールの収支は国際教育事業へ

ポイント: 減益の主因は業務拡大や新規事業開拓のための投資

既存事業は総じて好調を継続。事業拡大、新規事業開拓のために積極投資を実施予定

- 既存事業は総じて好調
- 認可保育事業は引き続き堅調(業績予想はやや保守的)
- プレミアム教育事業の各園は、充足率の高まりやオプションサービスの充実により増収・増益予想
- グローバルスクールについて、錦糸町園の黒字化は達成されたが、2024年10月開園予定の吉祥寺園の先行投資の影響により、国際教育事業は赤字継続予想
- 本社管理費用の増額は、オフィス増床による費用、事業拡大による社内基盤の拡充、コンサルティング等外部専門家の招致、新規事業の調査にかかる費用等を総合的に包含したものの

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

- | | | | | | |
|----|---------------------------|------|-------------------------------------|-----|------------------------|
| 1. | これまでの歩み | 6. | 事業領域の拡大 | 10. | 会社基本情報 |
| | 1-1. 財務指標の振り返り | 7. | 新事業領域の紹介 | | 会社概要 |
| | 1-2. 期初予想に対する進捗 | 7-1. | 新事業領域全体マップと新たな成長戦略 | | ビジネスモデル&収益構造 |
| | 1-3. 現中期経営計画に対する進捗 | 7-2. | 新中期経営計画の数値計画 | | サービス概要 - 認可保育所事業 |
| 2. | 外部環境の変化 | 7-3. | 新規事業の成長予測 | | サービス概要 - プレミアム教育サービス事業 |
| | 2-1. 待機児童問題の解消 | 7-4. | 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
認可保育所事業 | | サービス概要 - グローバルスクール事業 |
| | 2-2. 女性の労働力人口増加 | 7-5. | 新事業領域の紹介 - 国内教育事業：
プレミアム教育サービス事業 | | 市場環境 |
| | 2-3. 少子化社会のさらなる進展 | 7-6. | 新事業領域の紹介 - 国際教育事業 | | 重要指標 |
| 3. | Kids Smile Holdingsの新たな挑戦 | 7-7. | 新事業領域の紹介 - 産後ケア事業 | | 競争力 - 非認知能力とは |
| | 3-1. 新たな挑戦 | 7-8. | 新事業領域の紹介 - ファミリーサポート事業 | | 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム |
| | 3-2. 4つのアクション | 8. | 新中期経営計画のポイント | | 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス |
| 4. | 新パーパス、新ステートメント | 9. | 2025年3月期業績予想 | | 競争力 - 多彩な教育プログラム |
| 5. | 新社名について | | | | 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ |
| | | | | | 産後ケア事業 - 事業概要 |
| | | | | | 産後ケア事業 - サービス概要 |
| | | | | | 産後ケア事業 - 市場動向・戦略 |
| | | | | | 投資計画 |
| | | | | | リスク情報 |

会社概要

社名	株式会社 Kids Smile Holdings
設立	2018年4月2日
所在地	東京都品川区西五反田1-3-8
資本金	602,792千円 (2024年3月末現在)
連結子会社	株式会社Kids Smile Project (100%子会社)
当社グループの主な事業内容	認可保育所の運営 認可外保育施設・幼児教室・学童施設 スイミングスクールの運営 ※東京を中心に79施設運営 (2024年3月現在) 幼児教育教材開発・販売等
上場市場	東京証券取引所グロース (証券コード: 7084)
従業員数	連結:1,649名 (2024年3月末現在) ※パート・契約社員含む



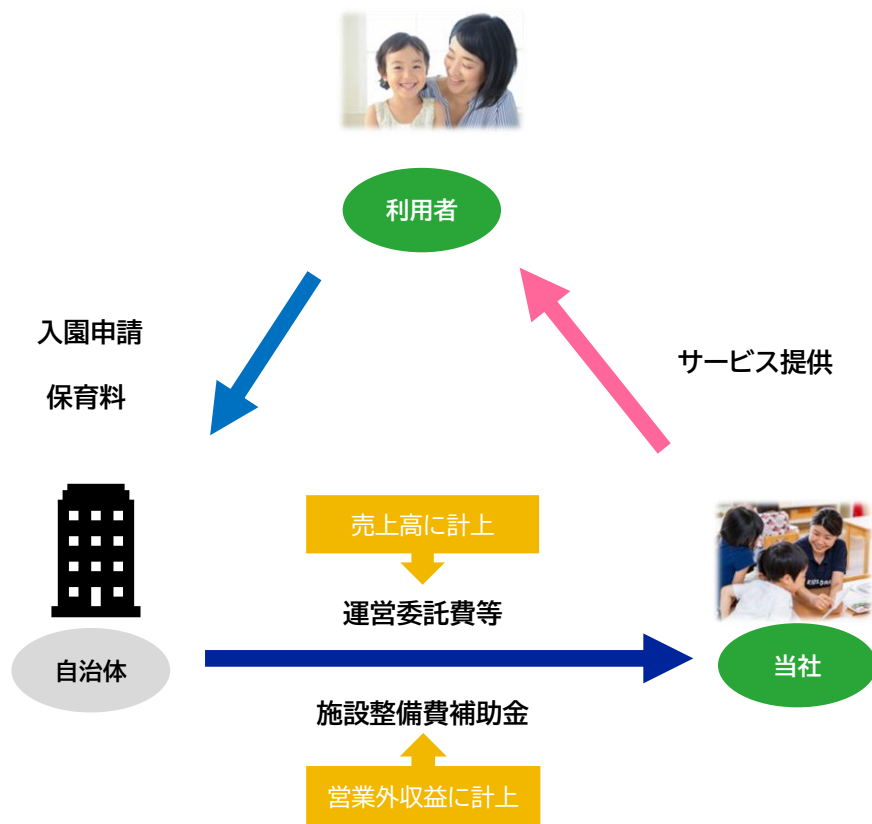
代表取締役社長 中西正文

- 1995年 早稲田大学法学部卒業
株式会社博報堂入社
- 2008年 株式会社Kids Smile Project 設立
代表取締役社長就任
- 2018年 株式会社Kids Smile Holdings 設立
代表取締役社長就任(現任)
- 2023年 株式会社Kids Smile Project
代表取締役会長就任(現任)

ビジネスモデルおよび収益構造

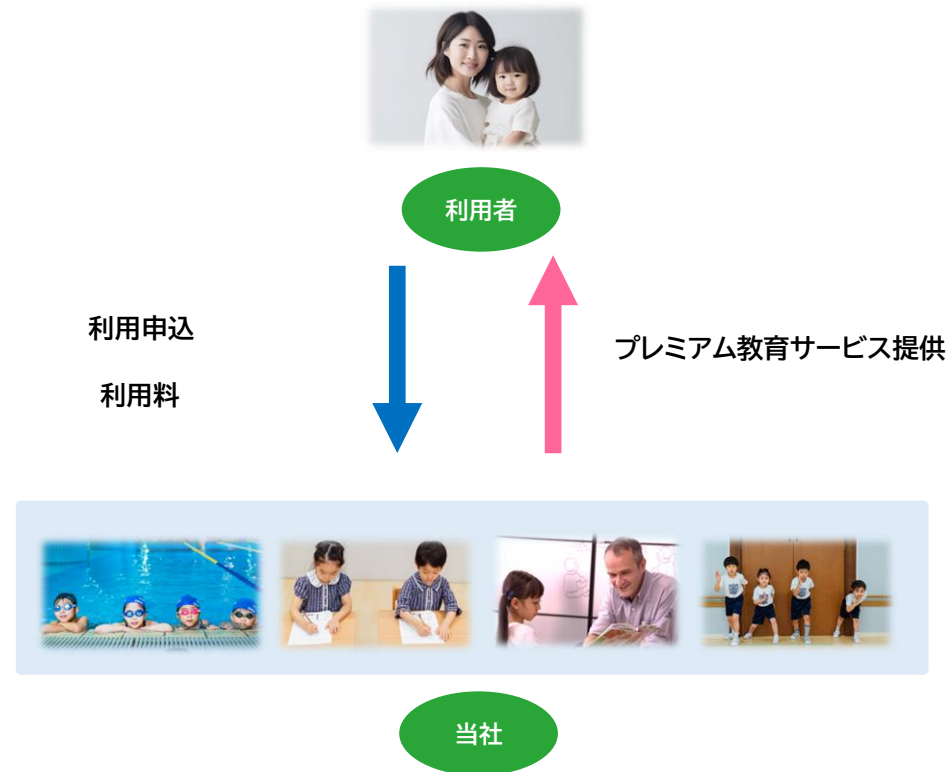
認可保育所

社会インフラとしての役割を担い国や自治体からの補助金を中心に運営する安定した事業



プレミアム教育サービス(グローバルスクール含む)

上質な教育サービスを提供する事で高い収益力を生み出す民間事業。
利用者からの利用料で運営



サービス概要 - 認可保育所事業

- 社会インフラとして認可保育所の運営
- 今後の方針

待機児童が減少してきた中で、『選びたくなる保育園』を目指します

- 当社施設の強み

- ① 保育ニーズが高い東京都・横浜市・川崎市・名古屋市に展開
- ② 非認知能力を育成するオリジナルプログラム「KID'S PREP. PROGRAM」の全園への展開
- ③ 利用者の安全性・利便性の向上

熱中症対策アドバイザーを全園に配置、おむつサブスクを全園に導入、ICTの活用など

- ④ 保育の質向上への取り組み

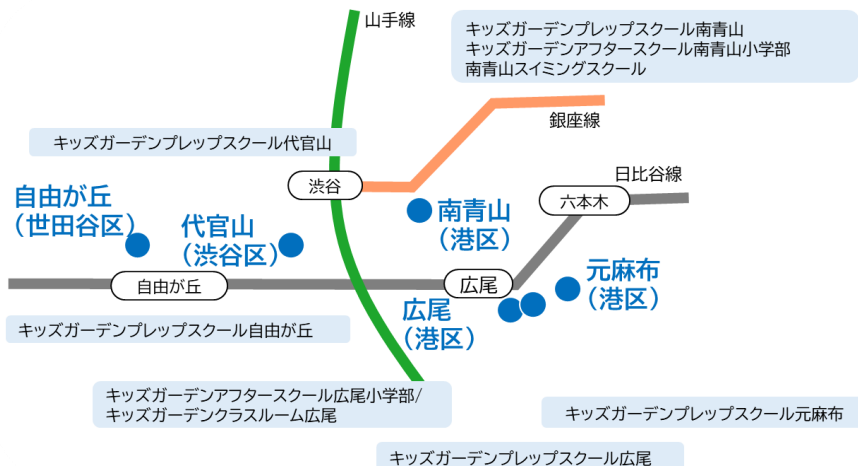
不適切保育のマニュアル・対応フローの整備、本社と各園の園長で構成する「不適切保育撲滅委員会」を設置など



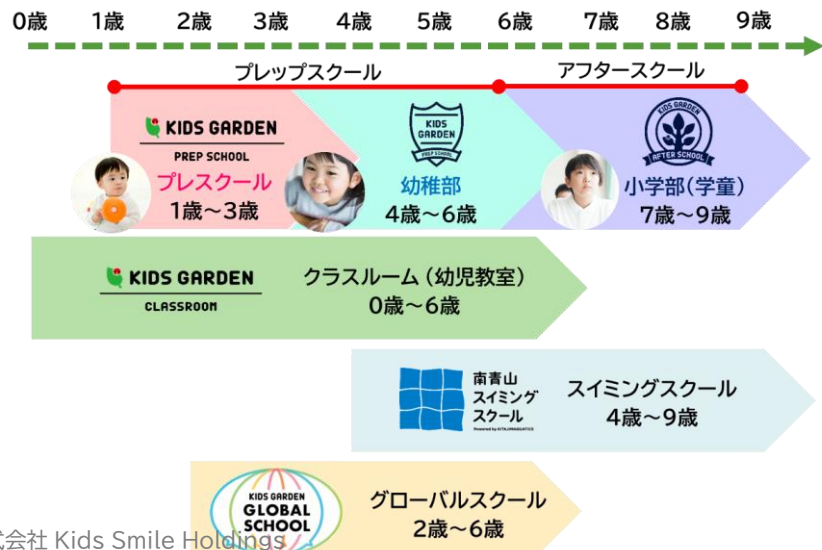
10.会社基本情報 - サービス概要 - プレミアム教育サービス事業

サービス概要 - プレミアム教育サービス事業

教育感度が高く、子どもへの教育投資に積極的な層が多い東京都内エリア中心に開設



0歳～9歳の児童を対象に様々なカリキュラムを準備



プレップスクール(教育特化型保育施設)&幼児教室

KIDS GARDEN PREP SCHOOL CLASSROOM



プレミアム教育サービスのメインコース

- 自由が丘・広尾・元麻布・代官山・南青山で展開
- 2021年10月 1歳～9歳を対象とした都内最大級の大型教育施設「キッズガーデン南青山」開設

アフタースクール(高付加価値学童)



2021年4月 学童領域へ進出

- 広尾・南青山の2施設で展開
- 宿題対応などの一般的な学童サービスに加えて、多様な教育サービスを提供する高付加価値学童施設

スイミングスクール

南青山スイミングスクール KITAJIMAQUATICS



2022年4月 スイミングスクール領域へ進出

- 南青山スイミングスクール開設
- 金メダリスト 北島廉介氏の株式会社IMPRINTと提携
- ハイエンド向けの高収益型スイミングスクール

グローバルスクール



2023年4月 新サービスラインスタート(グローバルスクール)

- キッズガーデングローバルスクール鎌倉町 開設
- キッズガーデングローバルスクール吉祥寺 開設決定
- 英語と日本語のバイリンガル教育を目的とした施設
- 全国展開を見据えたリーズナブルな価格設定

多彩な教育プログラム・サービスの開発・導入のために、各分野の専門集団との連携を構築

【主な専門講師】

- モンテッソーリ講師 (国際ディプロマ取得者)
- 空手講師(極真空手)
- ダンス講師(プロダンサー)
- 体操講師(体育大学出身)
- 英語講師(ネイティブ講師)



『KITAJIMAQUATICS』の子ども向け水泳プログラムの導入



早稲田大学 共同研究プロジェクト

現役・元教授による理科実験・プログラミング・造形絵画のレッスン提供



東証プライム上場

ヒューリック株式会社

新規事業の検討・開設において 大手不動産会社 ヒューリック社と業務提携

10.会社基本情報 – サービス概要 – 国際教育事業

KIDS SMILE HOLDINGS

サービス概要 – グローバルスクール事業

プレミアムライン(自由が丘・広尾・元麻布・代官山・南青山)で培った幼児教育の知識とサービススキル、認可保育所の運営から得た様々な経験とノウハウといった当社グループの強みに、「バイリンガル教育」という新たな魅力をプラスした保育施設をセカンドラインとして展開中

グローバルスクールの特長

- プレミアムラインの幼児教育のノウハウ
- 認可保育所の標準化した運営ノウハウ
- 英語と日本語のバイリンガル教育
- 多言語対応(日本語・英語・中国語)
- プレミアムラインの約半額の価格設定



2023年4月
キッズガーデン初、英語と日本語のバイリンガル保育園「グローバルスクール錦糸町」開園



2024年10月
英語と日本語のバイリンガル保育園の第2園目となる「グローバルスクール吉祥寺」開園予定



市場環境: 待機児童問題がほぼ解決+少子化の深刻化

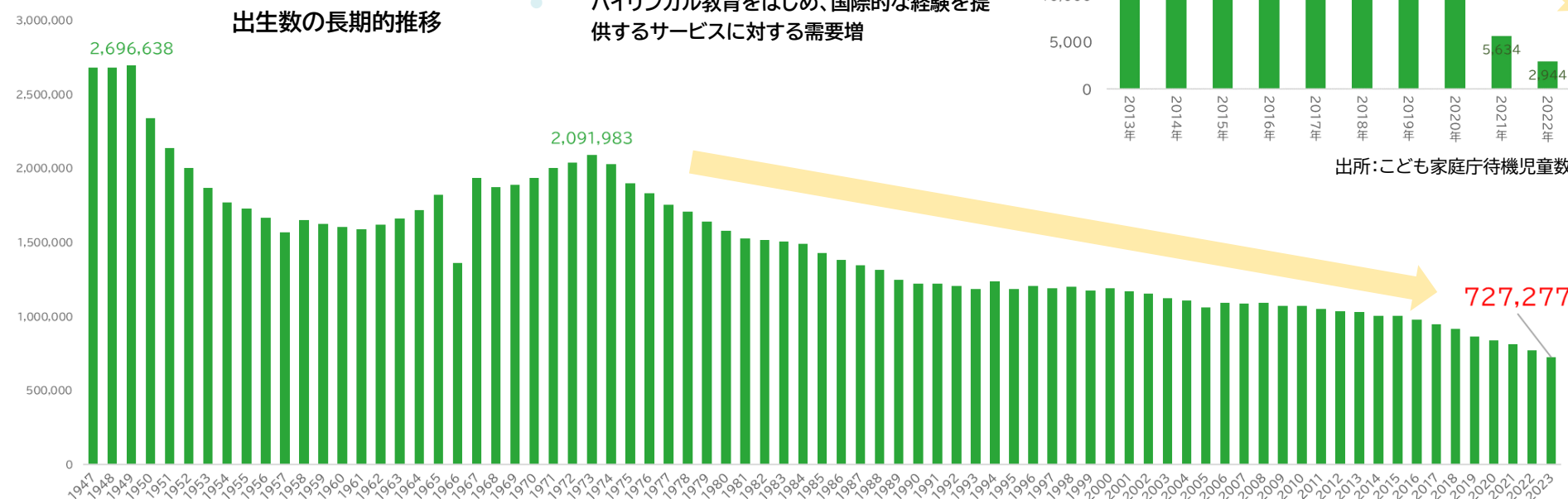
認可保育所

- 政府の施策は、施設整備などハードを中心とした支援から、保育士の待遇改善などソフト面の支援へと移行
- 待機児童問題がほぼ解消した今、サービスの内容・質が問われる時代であり、保育事業者の**選ばれる力**が必要

プレミアム教育サービス(グローバルスクール含む)

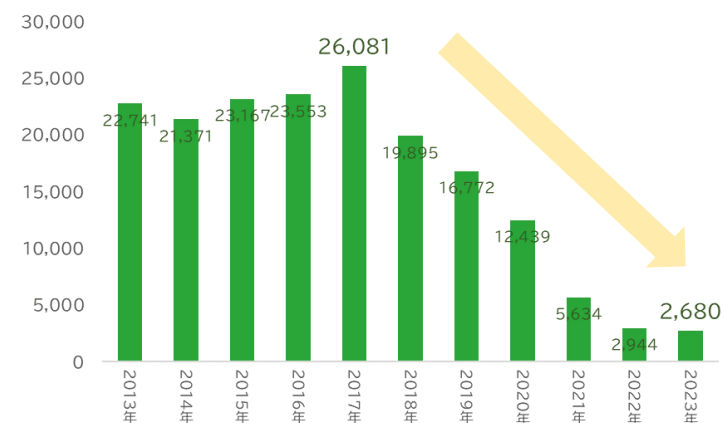
- 政府の「異次元の少子化対策」により現金給付が増加することにより、可処分所得が増加、教育意識の高い家庭に退位して、高付加価値な民間教育に追い風
- 子ども一人あたりにかける教育費が増大する中、専門的および多様なプログラムに対するニーズが拡大
- バイリンガル教育をはじめ、国際的な経験を提供するサービスに対する需要増

(単位:人)



待機児童数の推移

(単位:人)

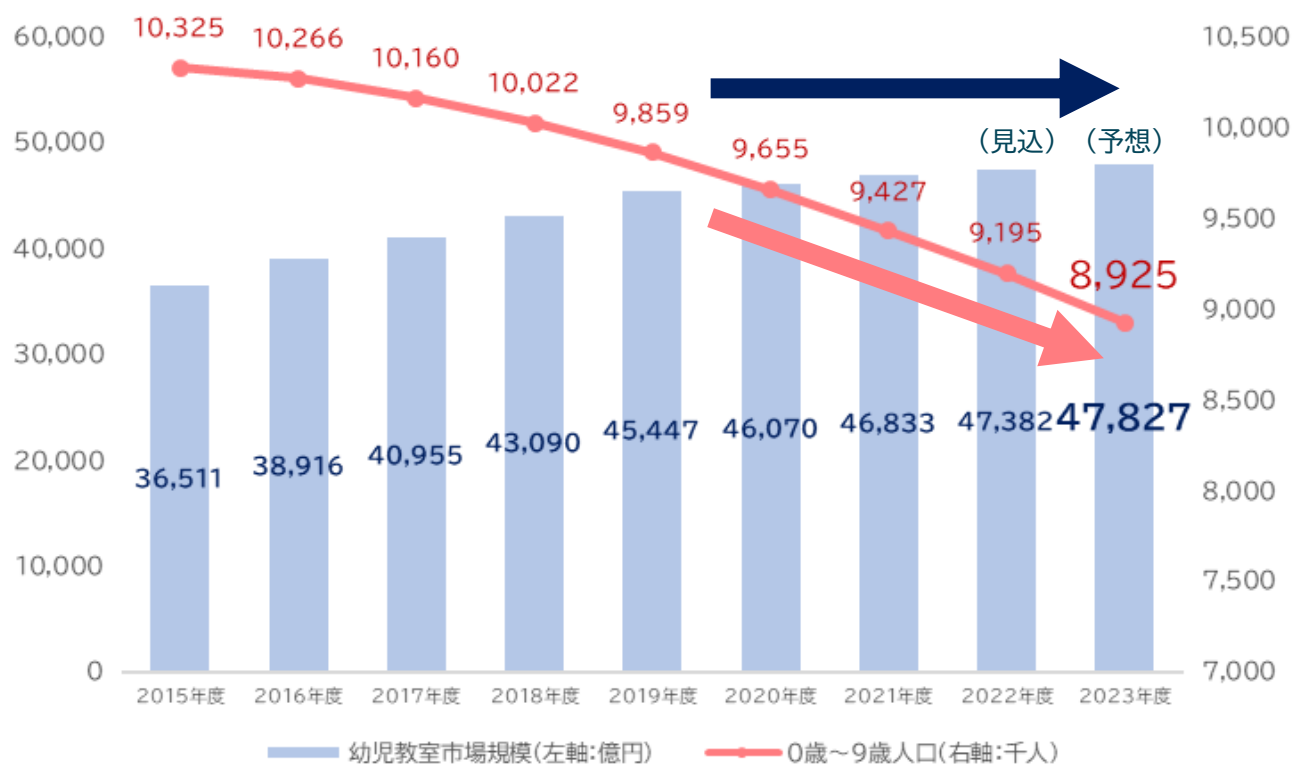


出所:こども家庭庁待機児童数調査

出所:厚生労働省 令和5年(2023)人口動態統計月報年計(概数)の概況

幼児教育市場規模：0歳～9歳児は減少し続ける一方で、幼児教育

市場規模は安定的に推移 → 成長可能性は顕在している認識



出所: 矢野経済研究所: 保育・幼児教育市場の市場規模推移
総務省統計局人口推計

10. 会社基本情報 – 重要指標

運営施設数および在籍児童数の推移

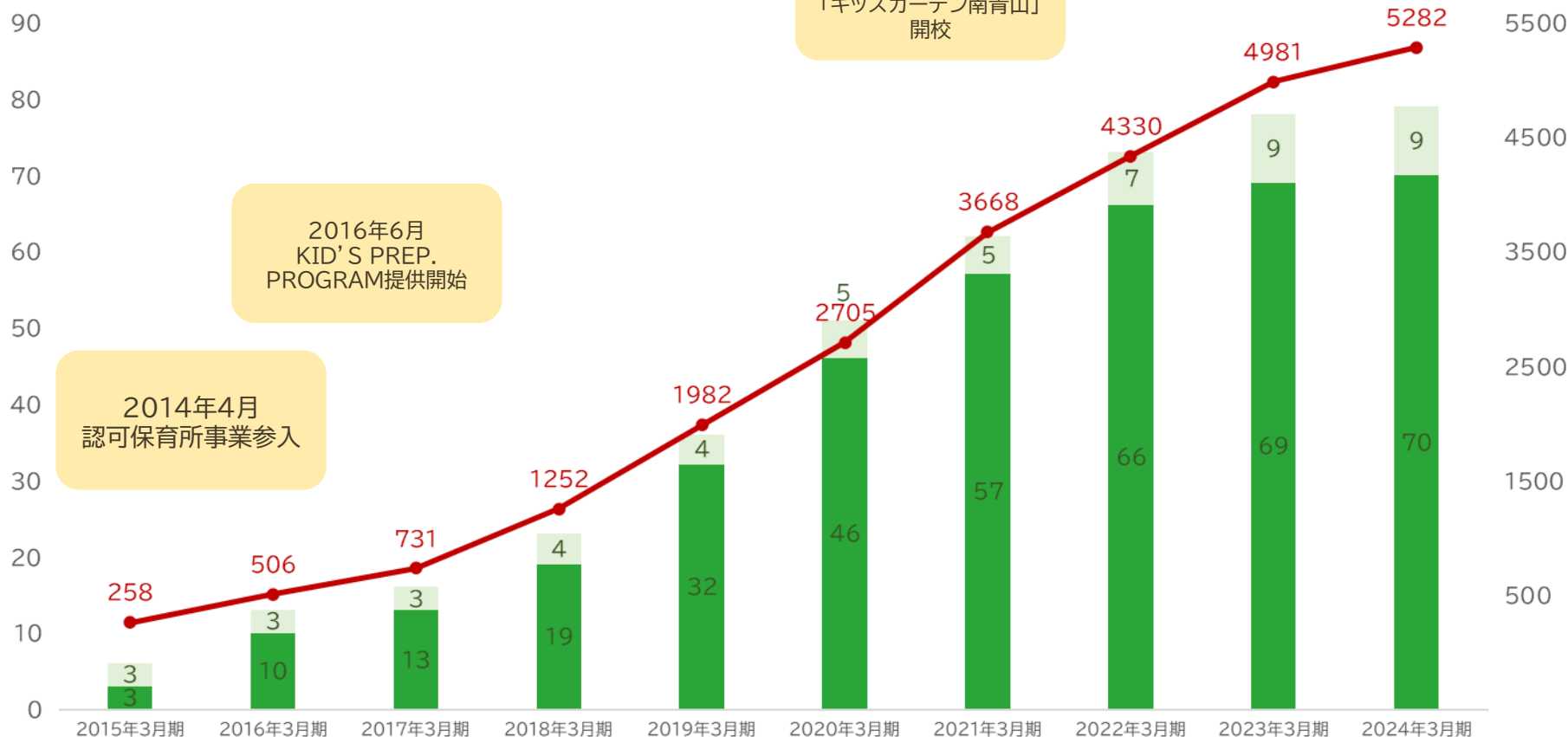
施設充実とサービス改善を同時に行い顧客満足の最大化を常に追求。結果在籍児童数は増加の一途

2023年4月
バイリンガル保育園「キッズ
ガーデン グローバルスクー
ル 錦糸町」開校

Coming Soon!!!
2024年10月
バイリンガル保育園「キッズ
ガーデン グローバルスクー
ル 吉祥寺」開校

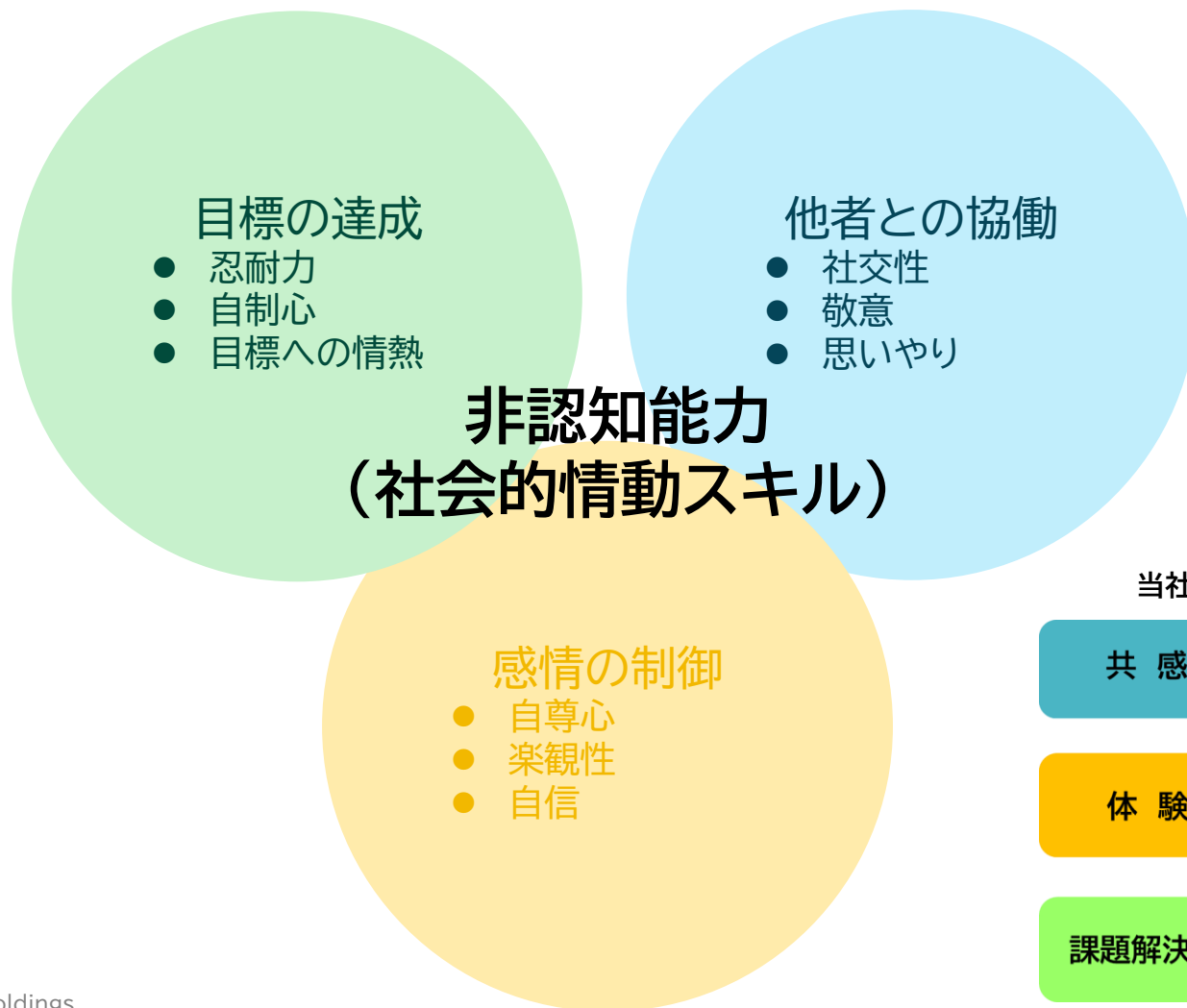
Coming Soon!!!
2027年まで
フラッグシップ施設「キッズ
ガーデン 麻布台ヒルズ」開校
予定

2021年10月
フラッグシップ施設
「キッズガーデン南青山」
開校



非認知能力とは

OECD(経済協力開発機構)は、21世紀社会の課題に対処し機会を活かしていくために必要なスキルとして社会的情動スキルを提起し、子どもがそのスキルを身に付けていくために、家庭、学校、地域社会の学習環境が重要であるとしています。これらのスキルは非認知能力として世界で注目されています



当社グループが育む幼児期の「非認知能力」

共感

- 相手の気持ちを正しく理解し、自分の気持ちを伝える事ができるコミュニケーション力の基礎をつくる。

体験

- 好奇心、探究心を持って積極的に物事に取り組むことで、達成感を育む。その達成感を更なる好奇心・探求心へと繋げていく体験を重ねる。

課題解決力

- 正解が一つではない問いに対して、自ら考え、答えを導き出す。

非認知能力の育成を重視した教育プログラム

子どもの非認知能力を育むことを目的として、世界で評価されたプログラムに加え、オリジナル教育プログラムを開発し、提供しています

KID'S PREP. PROGRAM

当社グループが有するオリジナルの教育プログラムです。

見る・聞く・話す・考える・行うの5つの力をバランス良く伸ばし、「自立」「自主性」「想像力」の心を育みます。



モンテッソーリ教育

各界のリーダーを数多く育てた教育法で、子どもの自主性や集中力を高め、自信と品格育みます。

国際資格を持つ講師が、子どもの知的好奇心を育む手助けをします。



幼稚園・小学校受験クラス

幼稚園、小学校の受験では非認知能力が重視されます。

そのため、幼児期に必要な非認知能力を高める取り組みを行い、受験に向けての基礎を身につけます。



創業以来、利用者の視点に立ち、期待とニーズに応えることで培った

高いサービスレベル

- 利用者の気持ちに寄り添った丁寧な対応と信頼に応える運営
- 質の高い教育と充実したカリキュラム
- 利便性が高い予約ルールとシステム
 - 保育の予約も振替も前日正午まで可能
 - スマホ・PCで予約完結
- 子どもの成長を実感できるサービス
 - オンラインによる連絡帳や成長記録の配信
 - プロカメラマンによるイベント撮影
- 安全で美味しい給食提供
 - こだわりの食材や調味料
- 家庭で楽しめる映像配信
 - 保育参観や発表会、行事のオンライン配信
 - オンラインによる保護者面談の実施



教育的価値、体験価値を実現する為に、様々な教育プログラムを開発

教育的価値、体験価値を実現する為に、様々な教育プログラム・サービスを開発・導入

教育的価値

0歳から9歳までの一貫した幼児教育を通じて、10歳以降必要となる「自ら学ぶ力」の土台をつくる教育の機会を提供



オリジナルプログラム
KID'S PREP. PROGRAM

非認知能力を育む
モンテッソーリ教育

幼稚園受験・小学校受験に対応
受験クラス

ネイティブ講師による年齢別の授業
英語プログラム

計算能力を高める
そろばんタブレット学習

早稲田大学との共同研究による
理科実験・プログラミング・造形絵画

遊びを通して「ソーシャルスキル」を身に付ける
チョイス・タイム・アクティビティ

体験価値

キッズガーデンブランドのプログラムやサービスを通して、子ども達には様々な体験の場を、ご家族の方にはその成長を実感できる体験の機会を提供



トップアスリートトレーニングのノウハウがベース
体操プログラム

KITAJIMAQUATICS のプログラムを提供
水泳プログラム

礼儀作法、思いやりの心を育む
空手プログラム

リズム感や記憶力、集中力の発達を促す
ダンスプログラム

自然の中で学ぶ
野外体験プログラム

想像力&好奇心を育む
アート&クラフト

その他、多数の専門講師を配置。本格的なレッスンを実践

10.会社基本情報 – 競争力 – 専門集団とのパートナーシップ

KIDS SMILE HOLDINGS

多彩な教育プログラム・サービスの開発のため専門集団との連携構築

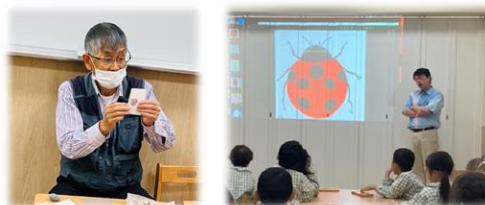


『KITAJIMAQUATICS』の
子ども向け水泳プログラムの導入



早稲田大学
共同研究プロジェクト

現役・元教授による理科実験・プログラ
ミング・造形絵画のレッスン提供



新規事業の検討・開設において、大手不
動産会社ヒューリック社と業務提携

主な専門講師

- モンテッソーリ講師
(国際ディプロマ取得者)
- 空手講師(極真空手)
- ダンス講師(プロダンサー)
- 体操講師(体育大学出身)
- 英語講師(ネイティブ講師)



出産後ママに対する心身ケアを通じた社会課題の解決

※本新規事業については別途事業説明会を開催予定

産後ケア施設とは出産後のママの心身のケアを目的として、ママと赤ちゃんが24時間体制で見守りながら、育児支援する宿泊型施設



昔	現在	新たな社会課題・ニーズ
母乳で育てるのが当たり前 (ミルクだと免疫力が弱くなるという根拠のない考え方)	ミルクを多用	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ち的に無理をしたくない ・体はできるだけ負担をかけたくない
通常出産が当たり前 (痛みを知ってこそ母親という価値観)	無痛分娩や計画分娩 (出産方法の多様化)	<ul style="list-style-type: none"> ・出産前後はお姫様のように過ごしたい
3歳までは付きっきりで子育てが当たり前 (愛着がなくなるという認識)	夫婦共働きがほとんど 0歳から保育園に預ける	<ul style="list-style-type: none"> ・親の高齢化 ・近所で頼る人がいない ・核家族化 ・孤独を感じやすい ・初産が高齢出産(35歳以上)が珍しくない ・女性の社会進出 ・産むことへの不安⇒産まない選択 ・少子化
実家で里帰り出産が当たり前 (3世代、地域で子育てが普通の価値観)	自宅で療養	
専業主婦が当たり前 (良い教育のために母親は専業主婦になるのが当たり前)	共働き	

このような現在の社会課題を産後ケア施設で解決を目指す

産後ママ、ベビー、家族のケアを同時に手厚く実施

● 産後ママへのケア

- 体調管理・健康チェック・栄養指導・回復のための休息サポート・乳房ケア
- 骨盤ケア・精神面のケア・心身リフレッシュ(マッサージなど)・沐浴・育児相談
- 授乳の指導・サポート・搾乳の指導・サポート・ミルク作り・抱っこ・オムツ替え

● 生まれたてベビーのケア

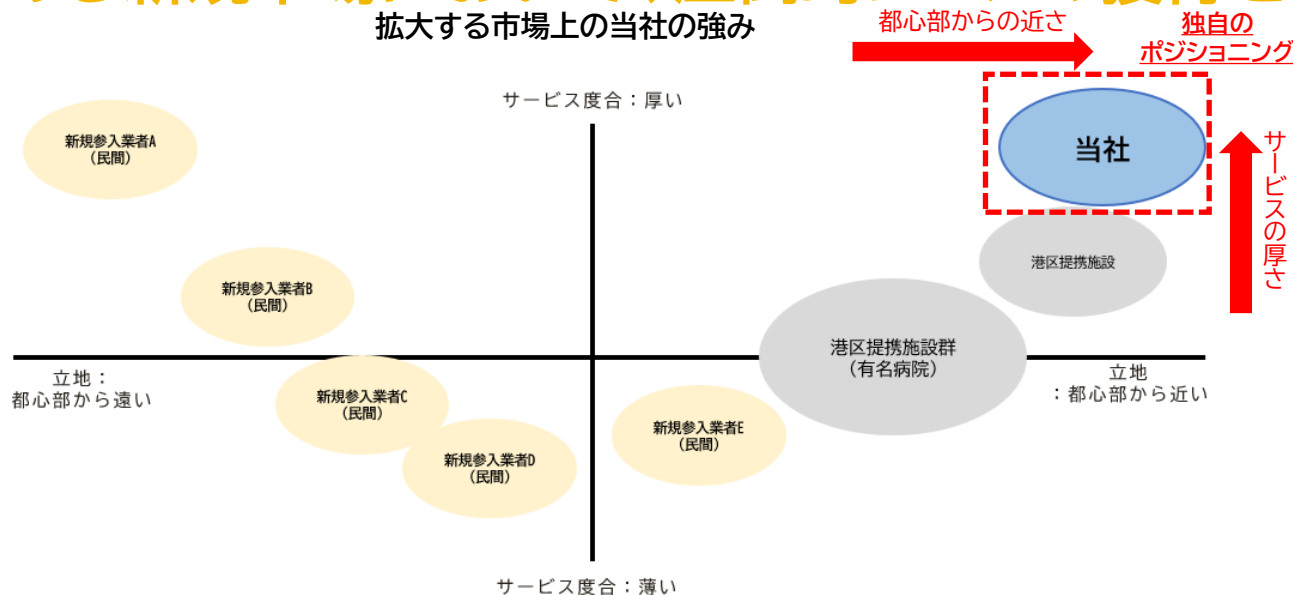
- 体調管理・健康チェック・体重測定・生活リズム作り(お昼寝管理など)

● 家族へのケア

- コミュニティー機会の創出
- パパが集える空間がパパの息抜きの場となる(育児への関わり方など適切なアドバイスも受けられる)



拡大基調にある新規市場において、圧倒的シェアの獲得を目指す



行政の産後ケア事業の現状

母子健康法の一部改正によって、産後ケア事業は、2021年4月から市町村における事業実施が努力義務化された。行政における産後ケア事業の多くが、産科医療機関や助産所で行われているが、こうした施設の確保が難しいと考えている市町村も多い。

産後ケア後進国である日本

産後ケアサービスが既に普及している中国・台湾・韓国が産後ケア先進国ならば、日本は産後ケア後進国といえる。それは韓国、台湾の出生率が1.0に満たない低いことに比例して産後ケアの利用率は高いことから日本での普及について伸びしろが高いことが伺える。日本では出産を取り巻く環境は大きく変わったり、医療も進化を遂げていく一方、いわゆる“昔ながら”な産後の過ごし方は過去から変化が見られない。これは、日本の産後の過ごし方における課題である。

民間企業の参入と市場の拡大

行政をめぐる状況を背景として、宿泊施設を改装した産後ケアホテルがオープンしたり、ホテルの一部を客室を産後ケアに利用したりするなどの参入がみられ、全国的な開設に拍車がかかっており、日本でもマタニティケア市場が順調に拡大している。マタニティケアの中でも、産後サービスは最も急速に成長するセグメントになると予想されている。

プレミアム産後ケアのパイオニアを目指す

プレミアムスクール開業・運営を通じて、我々は①上質な幼児教育の提供実績、②高いホスピタリティサービス、③ロイヤルカスタマーの存在、④子どもの教育を通じたご家族との信頼関係構築実績を有している。この競争優位を産後ケア事業の展開に活かす戦略を採用。

10.会社基本情報 – 投資計画

国内教育事業

認可保育事業

新設投資計画(推計値):なし

- 認可保育所の新設計画について、現時点ではなし
- 必要に応じて修繕実施

プレミアム教育事業

新設投資計画(推計値):約2.5～3億円/施設

- プレミアム教育サービスについては、麻布台ヒルズ園の開園が決定しているが、本格的な投資は今後
- 現時点では麻布台ヒルズ園以降の投資計画は未定であるが、今後も候補地の検討は継続
- 新設となる場合、施設あたり約2.5億円～3億円必要となる見込み
- 主に内装設備工事費、初期備品、敷金・礼金等

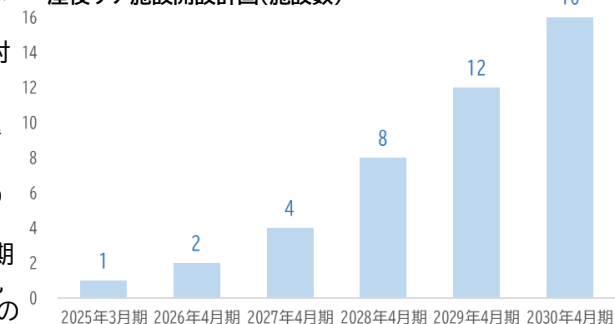
産後ケア事業

新設投資計画(推計値):約5億円/施設

※業務提携先との共同開発の場合、約5千万円/施設(ただし、ランニングコスト増)

- 2025年3月期中にオープン予定の施設に関しては今後本格的に投資開始
- 都心一等地中心に新設を検討するため、投資総額は施設あたり約5億円となる見込み
- 主に内装設備工事費、初期備品、敷金・礼金等
- スピード感のある事業展開のため、業務提携先との共同開発を積極検討。その場合、初期投資額は約5千万円になる見込み。ただしその場合開園後のランニングコスト増

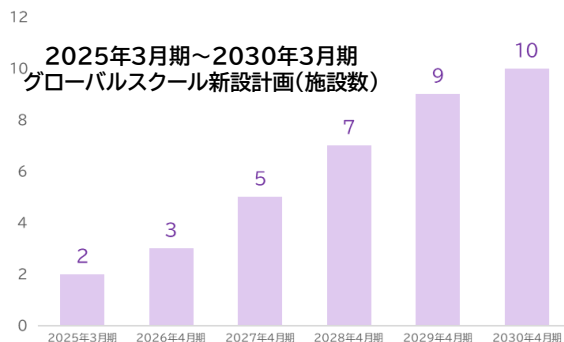
2025年3月期～2030年3月期
産後ケア施設開設計画(施設数)



国際教育事業

新設投資計画(推定値):約1.1～1.2億円/施設

- 2024年10月開園予定のグローバルスクール吉祥寺に対しては、開園に向けて投資実施中
- 次園の有力先候補も検討しているが、新設となる場合、施設あたり約1.1億円～1.2億円必要となる見込み
- 主に内装設備工事費、初期備品、敷金・礼金等



(注記)

- 投資計画の見込みは現在入手できる情報より合理的に算定した推定値であり、今後の事業状況や経済・社会情勢の変動により、金額が変更にある可能性があります。
- 開園計画も各事業の進捗により、高収益事業に集中投資等により変更になる可能性があります。
- 施設数が同数であっても、計画している施設規模により投資額が異なります。

ファミリーサポート事業

新設投資計画(推計値):なし

- 現時点では事業化に向けて、調査・検討中により投資計画はなし
- 事業化検討の調査のため、複数の外部専門家を招致予定であり、そのための費用は数千円を予定

資金調達手段

- ① 自己資金・・・2024年3月末時点で35億円の現金及び預金保有
- ② デットファイナンス・・・従来より実施。メインバンクとも良好な関係維持
- ③ エクイティファイナンス・・・事業の進捗より選択肢の一つとして検討余地あり

10.会社基本情報 – リスク情報

以下には、成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクについて記載しています。その他のリスクにつきましては、有価証券報告書「事業等のリスク」をご参照ください

事業環境に係るリスク	リスクの概要	顕在化可能性	影響度	対応方針
子育て支援における国や自治体の方針変更や関連法令等の改正等	当社グループが現在運営する事業は、児童福祉法、子ども・子育て支援法、こども基本法及び食品衛生法等の法規制が存在します。 国や自治体の方針が変更され、補助金の削減や株式会社による保育所の開設が制限される場合、又は、関連法令の制定・改廃が行われた場合、当社グループの事業活動が制約を受け、業績に影響を与える可能性があります。	大	大	昨今の情勢を鑑み、将来的に国や自治体の方針変更等により補助金が減少するリスクを見込んだ収支計画を作成し、施設運営を実施します。 同時に、各自治体との連携を深め、適切に運営を続けるとともに、民間教育サービスや新規事業の拡大を図り、よりリスクの分散・低減に努めていきます。
人材の確保及びその育成について	運営施設数の増加に伴い、認可保育所運営の為に保育士資格を有する保育士や指導員・スタッフ及びグローバルスクールの開校に合わせた本部要員、バイリンガル講師、保育士その他職員の確保と育成が重要となっております。 しかしながら、予定した職員数が確保できない場合、新規施設開校計画の遅延や既存施設の運営計画に支障が生じた場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。	中	大	当社グループでは、以前より採用活動を強化しておりますが、さらに外部専門家の助言等を受けながら、採用戦略の見直し、人事部門の強化、社員紹介制度の構築、人材紹介会社からの紹介強化等を実施しております。また教育研修制度や人事評価制度の充実を進め、人材確保と離職率の低下に向けた取り組みを行っております。
食の安全性について	各施設の園児に対して、必要な栄養量が確保できるように献立を作成し、各施設にて調理・提供しております。しかしながら、何らかの理由により食の安全に関する重大な事故が発生した場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。	小	中	職員に対して継続的に指導を行うことにより、食品衛生法に基づいた食材管理及び衛生管理を実施し、食中毒や賞味期限切れ食材の使用、異物混入等の事故を起こさないよう日々努力しております。
運営施設における事故について	運営施設において、重大な事故やトラブルが発生した場合には、行政処分による営業停止や園児の転園等により、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。	小	中	事故防止及び事故発生時のマニュアルに基づき、重大な事故・怪我の防止策を講じた上で運営しています。
大規模災害について	大規模災害に発生により児童や従業員、施設の建物が被害を受けた場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。	小	大	職員・園児に対しては大規模災害時の対応マニュアルについて日々指示・指導するとともに、安全確認アプリ等を利用して災害発生時の安否確認を迅速に行える体制を実施しております。またBCP(事業継続計画)の作成等の対策を実施してまいります。

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点における情報に基づき判断したものであり、市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。
- 実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご承知おきください。
- 事業計画及び成長可能性に関する事項の進捗を含む最新の開示について、次回は、2025年6月を予定しています。